

幼の育教

號五第 號月五 卷十三第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼市日

手工指導書

霜田靜志先
松岡正雄生 共著

學年別にて全八册

一尋尋出 價各一圓五拾錢送十二
二尋尋來 篇三篇以下旬日中續刊

位的に兒童本
位的に創作本
位的に生活指
導的であるか
一目的瞭然と
る。目新かに材
料の清新と豊
富と又一新に
指導の新しいさ
と懇切を特色
とするか一目
釋然する。

各教科に比して手工のいゝ本が少い。そのために手工科の實踐が向上しない。しかし、世界の趨勢はどうか、日本の國情はどうか。教育は日に々々生活に即することを要求され、仕上げられる。兒童は實社會に役立つことを求められてゐる。しかし、この現實的傾向は、必ずしも今までの實用主義の復活ではない。功利主義の蘇生ではない。全一的に鍛へられるその上に課せられた要求である。いはば、現實的處世的完成人への要求である。今や世界の思潮も、國家的要望も、教育に對する期待をそこにかけてゐる。手工科の任務も、考へて見ると重い。本書の著者は、日本に於ける新進の權威、巨大な實力を傾注して、あらゆる研鑽の後にこの書をなした。手工科の指導書として、恐らく未前のものであらう。豊富なる寫眞版や挿畫と相俟つて、明日よりの教科經營を、如何にも自信もて行届いて行はせる。われらの目標は、良書の刊行である。良書の刊行は嚴密な選擇にある。而して著者の生動する實力の日本の移植にある！

圖畫の教育

關衛氏著 斯界の主導理論たる實祭的兒童學說と日本兒童の圖畫能力とを結んだ先驅的圖畫學習指導書として多大の好評を博してゐます。價二・五〇 送一二

案教式授 小學校圖畫教典

日本兒童美術會 關衛氏監修 價一より尋六まで學年別全六册 各學年用一・五〇 送料一二

小學校手工用器畫法

武田忠雄氏著 用具の使用法、平面幾何畫法、立體幾何畫法、投影圖、工作圖法 價一・五〇 送一二

東振電 市口話 麵座九 町東段 下五三 區京三 六九二 番六一 四〇八 八番番 店書閣生厚

◆ 著名大四・園稚幼 ◆

奈良女高師教授・附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

定價 三圓
送料 十六錢

幼稚園の理論及實際

奈良女高師教授・附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

定價 二圓八十錢
送料 十六錢

保姆教育學

奈良女高師教授・附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

定價 二圓
送料 十六錢

幼稚園 育兒法

大阪家なき幼稚園長 東京毎日新聞社顧問 橋詰良一先生著

定價 二圓五十錢
送料 十六錢

家なき幼稚園の實際

昭和五年度「學校行事」贈呈

- ▲唯一の邦文参考書幼稚園の理論及び實際を體系的に説かれたる唯一無二而かも最良の参考書である。
- ▲幼稚園の經營原論内容は古今の理論内外の實際等幼稚園經營諸問題を網羅し悉く之を解決指示さる。

- ▲保姆檢定の唯一参考書文部當局と打合せ、新定幼稚園令施行規則の教育兒童心理・教授法・管理法を全部網羅した。保姆受驗者の参考書、保姆養成所及び女子師範等の保姆及び志望者の唯一の教科書である。

- ▲新幼稚園施行規則による保姆に必要な幼稚園託兒所に於ける適切なる育兒法を詳述し盡されてゐる。
- ▲本書も又保姆檢定の必須参考書保姆志望者並に保姆必須の書である。

- ▲創設者の苦心披瀝先づ露天に於ける家なき幼稚園を創設し次に自動車及び電車に進みし實況を披瀝さる。
- ▲六つの家なき幼稚園現に御經營の六幼稚園の實際を悉く詳記し天下此種の幼稚園經營者の参考に供ま

東京大東 大阪 東洋圖書株式會社 發兌

東京大東 市田區錦町三丁目九番地
大阪市南區安堂寺一丁目二番地



育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會 長 東京女子高等師範學校長 吉岡 郷甫
 主 幹 東京女子高等師範學校教授 堀 七 藏
 附屬幼稚園主事

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ豫出スヘシ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ容員トナスコトアルベシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、幼児教育ニ關スル研究及ビ調査
 - 一、幼児教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ開催
- 一、雜誌發行（毎月一回）

- 一、幼児教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其也本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一名 會務ヲ總理ス
 - 主 幹 一名 會長ヲ輔佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 幹 事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ズ
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ケ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、アトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザンハ變更スルコトヲ得ズ



號五第 育教の兒幼 卷十三第

—(次 目)—

口繪、相撲——幼兒の生活(五)——大積木——幼兒の生活(六)——おまじごと——幼兒の生活(七)——かごめ——幼兒の生活(八)	
幼兒の身體的保護	堀 七 藏 (二)
兒童と教科過程(一)	大塚喜一 評 (一三)
短 信(三) 保姆諸君と園藝趣味	倉 橋 惣 三 (三〇)
幼稚園と家庭との聯絡の實際	橫濱小學校附屬幼稚園・福島幼稚園・石川縣女子師範學校附屬幼稚園・岡崎市立幼稚園・昭安幼稚園・神戸慈光幼稚園
醫師の立場より見たる幼稚園と急性傳染病(承前)	島 信 (四〇)
巴里市公立幼稚園	宇 佐 美 敬 (四四)
福島縣の幼稚園	氏 原 銀 (四五)
保育座座會——遊戲唱家について	氏 原 銀 (五六)
會津行の歸途郡山市の子守學校と幼稚園を觀て	氏 原 銀 (六三)
切り紙(猫の御見舞)	及 川 ふ み (七一)
本月の草花	大 岩 金 (七九)
雜 錄 東京女子高等師範學校保育實習科入學試驗問題「歐米の幼稚園及低學年教育の實際」	
夏期講習會豫告	(八九)

東洋大學教授關寛之先生著

菊判約三百頁・定價二圓五十錢
挿繪多數美本・送料 十六錢

高等心理學

【色特大八】

一 文部省新定の高等學校高等科心理學教授要目に準據したること。
 二 現代心理學の基礎知識を與へることを主眼としたること。
 三 基礎知識以外次の如き重要材料は特に小活字にて詳記したること。
 四 新學說にて未確定の事項(2)時間の都合で取捨の餘地ある事項(3)特に師範專攻科の如く教育的の要求に充つる材料
 五 専門熟語並に人名に英語を併記し更に年代を附記したること。
 六 脚註を特設して敷衍説明を懇切丁寧に讀易く解易からしめたること。
 七 心理學小史を附録として添へ心理學の眞研究に便せしめたること。
 八 著者自ら多年學生に教授した實際に基く體験的著述なること。

東洋大學教授關寛之先生著

菊判二百餘頁・定價 金二圓
箱入洋綴美本・送料 十六錢

高等兒童心理學

【者讀必】【色特】

一 高等心理學の姉妹篇 兒童心理に付詳述し特に兒童の精神發達を力説す。
 二 上記八大特色完備 本書も亦上記の八大特色を悉く完備す(但制定なき第一項は)。
 三 よく纏り而も簡便 兒童の心理並精神發達の全部が完備したる至便の書。
 四 女子専門學校の教科書 高女高等科專攻科及此種女子高等教育參考書。
 五 師範專攻科保姆教科書 兒童教育に關係ある高級學生の教科書に至便の書。
 六 女子高等師範生女教師 兒童の精神發達其他を完全に手輕に學ぶ良書。
 七 小學校教師優良家庭に 科學的又は參考書として必讀すべき新刊書。
 八 小學校教師優良家庭に 科學的又は參考書として必讀すべき新刊書。

【十大必讀者】

- ▲高等學校教科書
- ▲大學豫科教科書代用
- ▲各種專門學校教科書
- ▲師範專攻科教科書
- ▲文檢受験者參考書
- ▲女子專門學校教科書
- ▲女學校高等科教科書
- ▲師範高女教師の良參考書
- ▲小學校教師の良參考書
- ▲心理學研究者の必讀書

【目次大要】

- 第一章 兒童心理學の性質
- 第二章 兒童期の身體
- 第三章 兒童期の精神
- 第四章 兒童の行動
- 第五章 兒童の學習習慣及疲勞
- 第六章 兒童の人格及個性
- 第七章 兒童の注意及興味
- 第八章 兒童の感覺及知覺
- 第九章 兒童の印象及聯合
- 第十章 兒童の記憶
- 第十一章 兒童の想像
- 第十二章 兒童の思想
- 第十三章 兒童の思考及言語
- 第十四章 兒童の情緒及宗教意識
- 第十五章 兒童の意志及道德意識
- 第十六章 精神薄弱兒
- 第十七章 精神的不良兒
- 第十八章 發育原理及發育法則
- 第十九章

東洋圖書株式會社發行
 東京市京橋區三丁目九番地・電話三〇七三番
 大阪市南區堂寺町一目二番地・電話九三九五番

昭和五年度「學校行事」贈呈

東京女子高等師範學校
教授附屬幼稚園 主事

堀 七藏先生新著 一 美本函入

愈發賣

歐米の幼稚園及低學年教育の實際

四版六四
一刷別ト一ア
三三三
七八八
四圓二價定
錢一料送

幼稚園及低學年

教育の新思潮と

實地の基礎本!!

新しいプランは

此の前衛書から

湧く!!

著者堀先生が親しく歐米諸國の幼稚園及各種小學校を實地研究せられた結晶でありまして其の内容は

1、歐米諸國の幼稚園教育が如何に行はれて居るか。

2、幼稚園と低學年とは如何なる關係にあるか。

3、小學年低學年教育は如何に行はれて居るか。

此の三方面を著者一流の明確なるメスを以て説述したもので絶対に類書なき好著であります。殊に六十有餘の寫真がアト別刷にて挿入されてありますから、居ながらにしてその地を周遊するが如く徹頭徹尾興味を以て讀む事が出来ます。

幼稚園及低學年教育關係者並に愛兒を持つ兩親の必讀を乞ふ。

東京女子高等師範學校講師

文學士

金子彦二郎著 一 安心して與へられる趣味の童話集

好評

新作 童話 打たづに鳴る太鼓

四六版三六〇錢
定價一圓三〇錢
送料一圓二錢

振替 七四七
座口 四五七
東座 四五七
京番 四五七

昭々閣書房

東京市外杉並町
高圓寺八五九

幼稚園談話會

來る五月廿四日午後一時半より東京女子高等師範學校附屬幼稚園遊戲室に於て左記の通り幼稚園談話會を開催いたします。からどうぞ多數御來會下さい。會費は無料であります。

昭和五年五月五日

日本幼稚園協會

1、龜の觀察について

東京女子高等師範學校教授

堀

七

藏

2、人形芝居の話

東京女子高等師範學校教授

倉

橋

惣

三

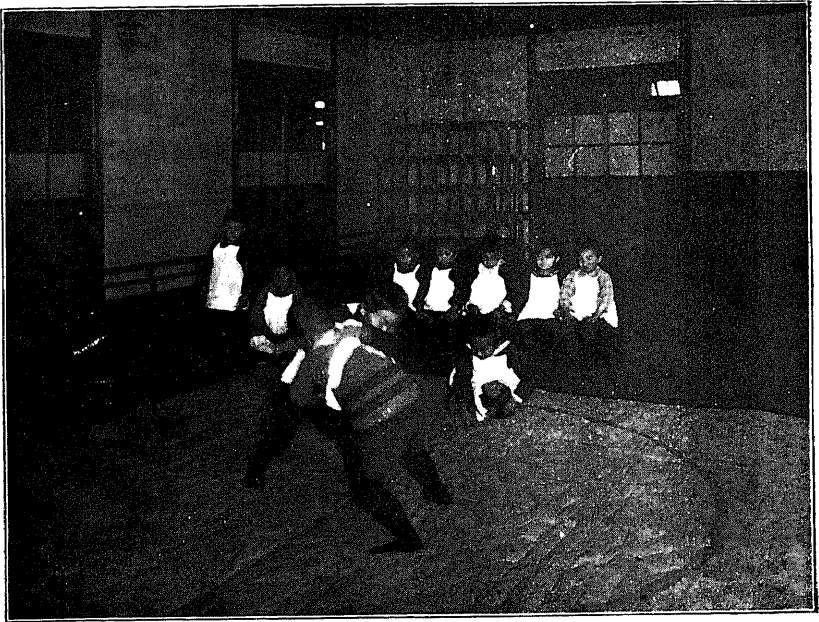
實 演

東京女子高等師範學校附屬幼稚園保姆

菊池ふじの

- 1、ヘンゼルとグレーテル
- 2、猿 蟹 合 戦
- 3、天 狗 喰 ひ

白根美智子
村上露子

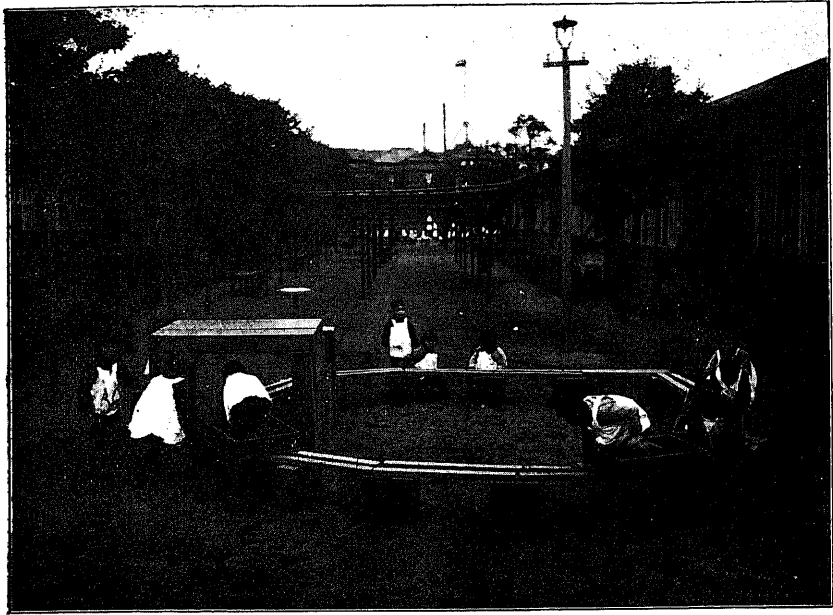


相 撲

— 幼児の生活(五) —

力一はい。

自分より弱い弟や妹を相手にしては、それは出ません。大人にお
相手をして貰ったのでは、それは出ません。どこまでも五分々々の
力と力との取組にだけ、それが出るのです。大人の相撲には
四十八手の秘術があるといひますが、幼児の相撲にはたゞ全身全
心の緊張の外に何物もありません。ぐんぐん押しゆく攻撃精神と受
けて耐へる踏ん張りのねばりと、それが土俵の上で争はれるといふ
よりも、相互を強めてゆくことだけであります。そして、小さい行
司の可愛らしい目の光るところ、一切を支配するものはフェアー
プレーの法則ばかりであります。(倉橋惣三)



大 積 木

— 幼児の生活(六) —

部屋の中だけでは足りないで、積木の室外進出。一つ／＼擔ひ出した大積木を、庭一ぱいに廣く列べて、積木箱が早速のトロツコになりました。一體此の大積木は、机の上に指先で列べた在來の小積木と異つて、運ぶにも、置くにも、兩腕の力を要します。身に自分で箱の中に入り込んで、トンネルにぶつからないやうに通つてゆく片手押しトロツコには、傍觀者に分らない程の大努力を要するのであります。— 大人は努力の結果を楽しみ、子供は努力そのものを楽しむのであります。(倉橋惣三)



おまじこと

— 幼児の生活(七) —

「こんにちは」

「まあ よくいらつしやいました」

ばらの御門に、きれいな御座敷。

「どうぞ お茶を召しあがれ」

「ありがとうございました」

小さいお盆に、草のお菓子。

「澤山召上つて下さい」

「はい、いただきます」

丁寧なお嬢様と、お行儀のいゝお客様。

うつとりと想像の中に遊ぶ幼児達の世界は、いつでも明るく笑

じてゐます。(倉橋惣三)



かごめ

—幼児の生活(八)—

やはらかい早春の日光の下に、可愛らしい聲が輪をつくつて歌ひます。

「……………」

……………

……………

夜あけのばんに
鶴と龜とつつべつた。

うしろの正面だーれ

ゆるやかな歌の調子がびたりやむと、輪の中の子どもは、首をかしげながら、きつばりいひます。

「花子さん」

ばち／＼と、にぎやかな拍手が湧きます。そして今度は、その花子が輪の中にはいります、籠の中の鳥になつた心であります。さてこの次のうしろの、正面は誰に當りませう。

のどかな歌の聲と、小砂利を踏む軽い音とが、いつまでも／＼続きます。

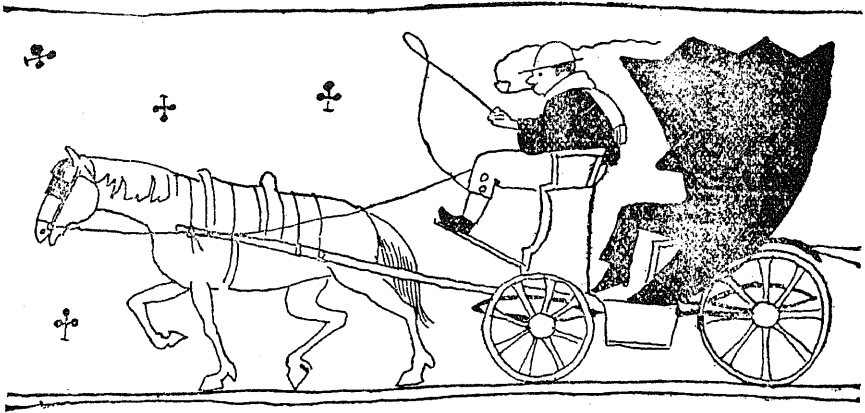
かごめ／＼

籠の中の鳥は

いつ／＼出やる。

……………

……………



第 五 號 幼 兒 教 育 第 十 三 卷

昭 和 五 年 五 月

一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。

一、家庭教育の短を補ひ幼児の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園保育であります。幼稚園保育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。

一、幼児の教育は本邦唯一の幼稚園保育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。

一、幼児の教育は幼児の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園保育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたものであります。

幼兒の身體的保護

堀 七 藏

一

幼兒保育の半分の仕事は幼兒の身體の發達を助長することである。幼稚園は幼兒を保育して其の心身を健全に發達せしめ」とある幼稚園令第一條を引用するまでもなく明白なことである。幼兒の身體を健全に發達させることは幼兒の精神を健全に發達させること以上に重要であつても、それ以下でないことはいふまでもない。誠に幼兒の身體を健全に發達させることの重要なことは誰でも皆よく首肯する所である。しかし實際保育に於ては兎角幼兒の身體を健全に發達させることについて努力することが缺ける虞が多い。明白な保育の一大事が案外輕視せられ、忘れられ勝になり易いのが、我が國幼稚園保育の一大通弊ではあるまいか。茲に幼兒の身體を健全に發達させることがやがて幼兒の精神を健全に發達させる所以であるなどと、議論する必要がない。また幼兒の身體を健全に發達させねばならぬ理由を説明するを要せぬ。只幼稚園保育に於て幼兒の身體を健全に發達させる工夫を以何にすべきかを説明すればよ

幼兒の身體を健全に發達させるには第一に幼兒の呼吸に充分の考慮をせねばならぬ。お互に空氣を呼吸することには不注意勝なことが多い。自然に無意識的に呼吸してゐるから、どんなに空氣を呼吸してゐるか、どんなに呼吸すべきか殆ど頓着しないのが常である。

第一に新鮮なる空氣を呼吸せねばならぬといつてゐても、日常新鮮な空氣を呼吸してゐるかといふと大變にあやしい。殊に幼兒は新鮮な空氣を呼吸せねばならぬなどといつてもんで理解することも出來ず、またその實行にも全く頓着せぬ。それで不清潔な空氣を呼吸して平氣であるし、有毒な空氣を呼吸してゐる場合も少くない。かくれんぼの爲めに塵箱の中に入つてゐたり、便所や押入にかくれることも少くない。また布団をかぶつたり、むしろの下にもぐり込むといふやうなこともある。そんなことがなくとも、閉ぢ込めた室内で盛にはねまはつたり、作業をしてゐるものである。是等はどうしても保母の方に於て注意せねばならぬ重要事である。保育室の廣いことも量必要なことであり、清潔であることも肝要である。脊の低い幼兒が盛に活動する保育室でも遊戯室でも、亦廊下でも便所でも、大人の生活する場所以上に清潔でなくてはならぬ。塵埃がたゞぬやうに床板が適當になつてゐなくてはならぬ。また常に

十分な換氣が行はれねばならぬ。多くの幼児が活動する所であるから、十分換氣して常に室内の空氣を新鮮に保たねばならぬ。小學校以上では生徒に窓の開閉をさせることも出来るが、幼稚園では保姆が常に換氣に注意してゐて適當に換氣せねばならぬ。我が國の幼稚園では兎角この換氣が不注意勝になつてゐるのは誠に残念である。換氣の設備が完全になつてゐて、常に自働的に十分な換氣が出来れば理想的であるが、實際は中々左様にも行かぬ。どうしても保姆が注意して換氣を行ふことを忘れてはならぬ。さりとて換氣のために幼児が風邪にかゝるといふやうでも困ることであるが、大體大人の立場から神經的に考へて室内を閉切つて換氣のよく行はれないことが多い。廻轉窓を適當に開閉して寒く冷なる風が直接幼児の身體に當らぬやうに成る工夫をして換氣を十分行ふことが肝要である。

尤も子供は「風の子」といふ位、寒がりではない。また吾々は顔から風邪にかゝることもなく、手足を出してゐたから風をひくといふことも先づない。幼児を無暗に保護するが爲めに、幼児の身體が薄弱になることも三省せねばならぬ。この故に幼児に無暗と厚着をさせたり、手足を包むやうな保育は甚だ面白くない。厚着をして汗だくなつた幼児が多く風をひくに注意せねばならぬ。幼稚園では家庭とよく相談して、幼児の着物に注意せねばならぬ。着物が運動し易く出來てゐることは勿論、成るべく清潔であることも大切であるが、あまり厚着せぬやうに訓練せねばならぬ。薄着のために風をひくことは幼児には殆どないことで風をひく子供は多々家庭で、厚着させるものに起る事實である。

それで、保育は成るべく新鮮な外氣に觸れたところで行はれるやうでなくてはならぬ。雨天のときは仕方がないが、成るべく戸外で保育をするやうにせねばならぬ。あまり炎天の下で無理強ひに外遊びをさせることは勿論よくないが、幼稚園といへば陰氣な遊戯室で、面白くもない遊戯を強制的に行はせたりまた行儀よくして、幼児を腰掛に釘付けにするやう 悪い姿勢にも頓着せず、狭い保育室に閉ぢこめて置いて幼児の自由活動を束縛するが如きことは絶対に禁止せねばならぬ。無理な日光浴もよくないが、毎日幼稚園で室内保育だけをして するやうなことは誠に面白くない。天氣がよければ終日戸外で自由遊びをさせて置く方が却つて保育が行はれるものである。室内でなくば出来ないやう遊戯や作業は雨の日に配當すればよいのである。無理な時間割を作成して置いて、それに拘泥するが如きは誠に警戒せねばならぬ。

三二

成るべく戸外の自由遊を多くして幼児の身體を健全に發達させるやう積極的に工夫をすることが至極肝要であるが、また幼児が疾病にかゝらぬやう十分保護せねばならぬ。

積極的に幼児の身體を健全に發達させる爲めには新鮮なる空氣を十分呼吸せしめ、十分なる日光に浴せしめて幼児に相當な戸外遊を行はしめねばならぬ。そのためには幼児が上つたり下りたりする小山も

必要である。また石段も欲しい。よぢのぼるための竹や樹木もあればよい。また砂遊びが十分出来るやうに廣い砂場も必要であれば、ブランコなどもなければならぬ。走つても危険でなく、ころんでもけがをせぬ運動場が大變必要である。また水遊びが自由に出来る設備も欲しい。只大人の老婆心で、あれもあぶない、これも危険で、幼児の遊び道具となるものを悉く取のぞくやうなことは禁物である。掃いたやうな奇麗になつたアスファルトの運動場は必ずしも理想ではない。寧ろ砂利が敷いてあり、芝生があり、煉瓦の破片も大きな石もあつた方がよいのである。幼稚園だから小砂利の運動場はいけなないと、頭から決定することは宜しくない。

消極的に幼児が疾病にかゝらぬやうに十分工夫し設備し、また注意せねばならぬ。戶外遊びをなせば手足が著しくよごれる。着物も不潔となる。着物の不潔になるのは家庭とよく連絡して常に清潔を保つやうにせねばならぬ。手足のよごれるのは成るべく幼稚園で簡単に洗滌することが出来るやうに設備せねばならぬ。元來幼児の身體は新陳代謝が盛であるから、大人よりも一層よごれ易い上に外遊びを盛にさせる程手足がよごれるものである。歐米の幼稚園では幼児の家庭に於て入浴することが少いから、バスの設備を是非必要とする。しかし我が國では左程の必要はない。幼児の中に入浴を好まぬものがあるから、保母の方で時々幼児の身體を検査して家庭に注意をする位で結構である。爪が不注意にのびたり耳垢が澤山たまつてゐたり、また頭髮が著しく伸びてゐたり、臭氣を發するが如き場合には家庭に注意

するなり幼稚園や托兒所で適當な方法を講じて常に清潔を保つやうにせねばならぬ。それで一日少くとも一回は幼兒の身體を検するやうにありたいもの。また砂遊びの後には十分手指を洗ふやうに躑けねばならぬ。食事の前には必ず手を洗ふやう、また口中を嗽ぐ設備もせねばならぬ。うすい鹽水で口中を嗽ぐとよいが、只の清水でもよゝ。

また幼兒が互に手を取り接近したり、接觸して遊ぶのであるから、一人の病氣が全體の幼兒に蔓延することが甚だ多い。この點は幼稚園に於て非常に注意せねばならぬ。急性傳染病ばかりでなく、トラホーム・禿頭病などの如きものにも深く注意して適當な處置をとらねばならぬ。その爲にも幼兒の身體を一日に一回は必ず検査して傳染病の疑があるものは家庭に注意するなり、幼稚園で相當の處置をすることが肝要である。また傳染病、かゝりたる幼兒あらば必ず消毒を怠つてはならぬ。家庭にも幼兒群集の幼稚園なることをよく理解させ、速に相當な手續をなさしめ、多くのものに傳染するが如きことを成るべくさけるやうにせねばならぬ。この點に關しては幼稚園でも家庭でも注意に注意をせねばならぬ。砂遊びがら蛔虫にかゝるものが多いとか、まゝごと遊びから疫痢にかゝるといふが如き事實が少くないし、知らぬ間に流行性感胃が一組に蔓延してゐたり、麻疹で一組に五六人もの缺席者を出すが如きことは幼稚園には珍らくない實例である。

幼稚園では幼児の食物並に飲料についての注意は少いやうである。飲食物は多く家庭のことで、普通の幼稚園では家庭に任せて置いてよい位である。しかし幼児を健全に發達させる爲には非常に注意せねばならず、幼稚園として講究せねばならぬ事柄がある。托兒所などで給食をなすことか、また間食を與へるときは一層重要な問題となるが普通の幼稚園でも幼児の晝食を行はせるときは之に對する適當な注意を必要とする。家庭でも幼児の晝食に注意を拂ふことが多いが、しかし召使のものに幼児のお辨當を準備させる場合が多いため、いろ／＼注意せねばならぬことがある。盛に活動し大に發育せねばならぬ幼児の食物として適當に榮養分を含んで居らねばならぬ。滋養に富んだもので相當分量なくてはならぬ。所がお辨當として汁が出ぬもの、携帶に便なるものといふ條件があるから、中々材料の選定が困難であり、料理法が適切でなくてはならぬ。殊に夏季腐敗し易いとき、また嚴冬冷却せるお辨當を食せしめるときなどにはそれ／＼適當な工夫をせねばならぬ。従つて適當な榮養辨當を幼稚園で供給出来るならばよいが、多くの場合には不能であるから、毎日幼児の食物を檢し、必要に應じて家庭に注意を促すことも起るのである。殊に食器の洗滌不充分なものが多い。お箸がよく洗はれてないとか、湯呑がよごれてゐるとかすることが多いものである。こんな些細な點までも家庭に注意を促がすとか幼稚園で適當

に洗滌する工夫をせねばならぬ。また幼兒、飲む水も、く注意せねばならぬ。小使がさし水をしたぬるい湯を吞ませたり、沈澱の多い臭のするやうな湯を與へたり、土瓶や藥罐が著しく不潔であるといふが如きことも有り勝であるから、十分小使を取締らねばならぬ。何事にも頓着せぬ幼兒、不衛生も何もわきまへぬ幼兒の生活であるからこの方面は一切萬事保母が特別な注意を拂はねばならぬ。

五

幼兒が新鮮な空氣を呼吸するやうに心掛けると共に、幼兒が常に鼻孔で空氣を吸入するやうに躡けねばならぬ。これは幼稚園時代に於て非常に大切な躡である。人間は生れると直にお乳をのむ本能をもつてゐるが鼻孔から空氣を吸入する本能がない。呼吸は口だけでも行ふことが出来るから空氣を鼻孔から吸入することは生徒の躡けによつて自然に習慣となるのである。乳房をくはへてゐて呼吸せねばならぬから、鼻孔より空氣を吸入するやうに躡けられ習慣づけられるのが普通であるが、それでも鼻孔を鼻汁で塞ぎ、口で呼吸する幼兒が甚だ多いものである。三十人の幼兒中に口を開いて呼吸してゐるものは少くない。眠るときなどには十人中七八人まで口を開いて呼吸してゐる位である。今更説明するまでもなく呼吸は鼻孔ですべきもので、口で呼吸すべきものではない。無意識的に鼻孔で呼吸すべきものである。所が鼻孔が鼻糞や鼻汁で塞がつてゐるから、自然口で呼吸をするといふのは單に幼兒ばかりではな

い。またアデノイドであつたり、扁桃腺肥大のため、鼻孔で空気を吸入することが困難で、口で呼吸する幼児も少くない。口で呼吸をするが爲に、塵埃の多い空気が、新鮮な空気が、また乾燥した寒冷な空気を吸入して咽頭や喉頭にカタルを起し、扁桃腺肥大を來し、發熱したり感冒にかゝり、また氣管支カタルなどを起すことが多いのである。鼻汁をたらしてゐることは單に不體裁だといふだけではない。實に鼻孔で空気を吸入せず専ら口で呼吸する爲に、いろ／＼の呼吸器病にかゝり、またかゝり易いからである。何時でも鼻孔がよゝ通つてゐて、呼吸が鼻孔で無意識に行はれるやう小さなときより躑ねばならぬ。そのためよく鼻汁をかみ、鼻孔をよく拭つて深呼吸を行はしめて、呼吸が常に鼻で無意識的に行はれるやうに習慣づけねばならぬ。幼稚園保育に於て鼻から呼吸するやうに訓練することは非常に肝要なことである。兎角不注意勝になり易いことで、鼻汁たらしは幼児の異名のやうになつてゐることは保母として誠に恥づべきことである。受持幼児にはなたらしが一人でもあるのはその保母の恥とせねばならぬ。

六

幼稚園保育に於ても注意すべきは幼児の睡眠休息の問題である。幼児は盛に活動するから疲れることも著しい。尤も幼児の自由活動に任せて置くと疲れると休み、興味が次から次と轉換せられ、従つてい

る／＼の筋肉を使用してゐる、ら八ヶましく休息をさせる必要は少い。けれども入園後間もない幼児などで見ると、入園前と著しく睡眠状態が異なる。夜遅くまで起きてゐて朝寝した幼児でも、入園後は日の活動で疲れて夕方早く寝に就く。甚だしきは夕食中にふら／＼する位である。そして熟睡するので朝も早く起るやうになるものである。寝不足で幼稚園へ来た幼児は機嫌が悪く、駄々をこねることが多いから、かゝる幼児には休息させ、場合によつて睡眠させる方がよい。それがため静かな一室に簡単な寝臺を置いて睡眠させる工夫が出来る。また保育室に寝臺椅子を用意して置き、必要に応じて幼児に休息させるがよい。また晝食後暫く休息させるため簡単な寝臺を用意することが出来る。と申分がない

七

身體検査といへば身長體重などを測定して統計することだけと考へるのはよくない。身長、體重等、幼児の身體状況を觀察することも肝要である。しかし一年一回幼児の身體検査を義務的にしただけでは足りない。既に述べた如く保姆は毎日幼児の身體を簡単に検査して不清潔なことのないやうに、不衛生な行爲が行はれないやうに注意せねばならぬ。頭髮、眼、耳、鼻、口中、手指等が常に清潔に保たれ、その上にそれ／＼十分練磨せられるやうでなくてはならぬ。必要に應じては家庭と共同して幼児の健康増進のため適切なる方法を講ぜねばならぬ。母の會とか保護會とかを利用して幼児の身體保護のため十

分施設することが肝要である。また一年一回の身體検査でも個々の幼兒について十分個別的な注意をなし、各幼兒の身體が健全に發達するやうにせねばならぬ。

一體保姆といふ言葉は英語のナースを幼稚園創設當時譯したものである。ナースには看護婦といふ意味を多分に含み、英國などではナースが幼兒の看護について十分醫學的修養をなし、實際保育に於ても幼兒の身體的方面に多大な努力をなし、保育の殆ど全般を通じてナースとして活動する位である。それで幼稚園や保育學校はナースが幼兒保育の全般を擔當することが出来る。小學校以上になると教師の外にスクールナース即ち學校看護婦があつて生徒の身體的保護を擔當する。體操競技等によつて生徒の身體が積極的に發達する方面を擔當するに對しスクールナースは消極的に身體的保護衛生的な方面を擔當して生徒の健なる發達を助長するのである。しかし幼稚園保育は身體を健全に發達させることが主要な任務であるからナースが全班を擧げて擔當するのである。我が國に於ても從來より一層幼兒の身體的保護に努力せねばならぬ。

兒童と教科過程 (一)

デュキー原著
大塚喜一譯

學說に於ける深遠なる差違は決して理由無き事ではなく、又捏造されたるものでもない。それは一個の本義的問題そのものの中に存する相反せる諸要素より出て來るのである。(本義的とは、其諸要素があるがまゝに見た時矛盾して居ればこそ、問題となつてゐるものである。)即ち苟くも意義ある問題は、一見矛盾せる如き諸條件を包含する。而して其解決は、既に固定されたる語義から離れて、諸條件を他の見地から、從て新しき光の中に於て視る事に依てのみ來る。しかも此改造は思考の勞苦を待たねばならぬ。蓋し、舊觀念の古城を征服し舊知の事項より離脱する此の思索よりは、既に述べられたる所に執着して攻撃を防禦すべき支持物を探し求める事の方が何人にも容易な事であるからである。

斯くして諸學派が起り、意見の諸派が生ずる。各學派は自己に都合のよい諸條件の組を選んで是等を完全なる獨立せる眞理に編成するが、是等を一問題に於ける訂正を要する事項としての考察する事をしなす。

教育的過程に於ける基本的因子は未完成未發達の存在者である。而して或る社會的目標・意味・價值は

成人の成熟せる經驗の中に具體化せらる。教育的過程とは是等諸力の適當なる相互作用である。最も完全なる且最も自由無碍なる相互作用を容易にする様な具合に各々を他に關係せしめる所の概念は、教育學說の精髓である。

然し思考の努力は抑も此處に生ずる。各條件を分離し、他を排除して一を強調し是等を互に相對立せしむる事は、是等の各々が屬する本體を發見するよりも容易である。容易なる事は、子供の性質の中に何者かを又は成人の發達せる意識の中に何者かを把握して、全體的問題への鍵として是を主張する事である。但し斯の如き取扱が行はるゝ時、眞に眞面目なる實際問題——即ち前述の相互作用の問題——は忽ちにして非實際的なる、それ故に不可解なる、理論的問題に變態させられる。斯くして人々は、教育といふ事を確に且其の全體として見る事なく、矛盾せる各條項として見るに至る。吾人は茲に兒童對教科過程、個人的性質對社會的教養の場合を論ぜんとす。教育的見解の他のあらゆる分派の下に此對立が伏在してゐる。

子供は人格的接觸の幾分狭き世界に生活してゐる。事物はそれが密接に明瞭に彼自身の幸福か又は彼の家族や友人の幸福かに接觸するのでなければ、彼の經驗内に入り來る事は困難である。彼の世界は互に人格的關心を有する人々の世界であつて、事項や法則の領土ではない。外界の事實に附合するといふ意味の眞理ではなくして、愛情と同情とが其主眼である。斯かる事情に反して、學校に於て出會ふ學習

の道は、時に於ても空間に於ても無限に長く廣き材料を展開してゐる。子供は彼の親しき物理的環境から、殆ど一平方哩も面積のありそうな廣い世界——然り而して太陽系の際邊までも連れ出される。彼の個人的記憶や因習の小世界は全人類の歴史の永き幾世紀の重荷を負ふ事となる。

再び云へば、子供の生活は組織的全一的なるものである。彼は一題目から他の題目へ恰も一箇所から他の所へ飛歩く如くに速に容易に經過する。しかし其經過や途切れを意識しない。彼の心を領せる事物は彼の生活が持來したる人間的社會的興味の統一に依て互に保持せられてゐる。何でも彼の心の中で最上層にあるものが彼には其時の全宇宙を構成してゐる。其宇宙は液體で流れ易く、其内容は驚くべき速さを以て解體し且再生する。しかし結局、これは子供自身の世界である。それは彼自身の生活の統一と完全とを有する。彼が學校に行けば各種の學科は彼の世界を各部分に分つ。各學科は夫々特有の見地から一組の事項を抽象し分析する。

又、學校では是等主題の各々は分類される。諸事項はそれがもと經驗内にあつた原始の位置から引離されて、或一般原理に關係付けて並べ換へられる。分類は子供の經驗の關與する所ではなく、其諸物は個人的小區劃には來らない。情愛の生活力(生氣)と活動の結帯とは子供の個人的經驗の雜多を互に結合せしめる。成人の心は論理的に秩序立てられたる諸事項の概念に極めて親熟してゐるから、直接經驗の事項が一つの「研究」として又は學習の一分科として現はれる迄に受けねばならぬ分離や改造の多くあ

る事を理解せず又理解し得ない。智能によるには一原理を區別して決定せねばならず、諸事項はそれ自身としてではなく此原理に關係付けて説明されねばならない。是等の事項は全然抽象的且理想的なる一新中心の周圍に再び集められねばならない。是等總ての事は皆特殊な智的興味の發展を意味する。此事は事物を公平無私に客觀的に見る事即ち一個人の經驗内の位置や意味に無關係に見る能力を意味する。それは分析し綜合する能力を意味する。それは圓熟せる智的習慣と、一定の技術の指揮と、科學的精査の裝置とを意味する。分類されたる諸研究は一言にして云はゞ幾年かの科學の產物であつて、子供の經驗より來りしものではない。

子供と學課程との間の是等の見かけ上の偏倚と差違とは、殆ど限り無く廣げられる事も出来る。しかし吾人はこゝには次の基本的相違を示すのみにて充分である。

第一に、狭いがしかし人間のな子供の世界と之に對して非人格的ではあるが無限に廣がれる時空の世界。

第二に、子供の生活の統一と單純なる全心沒我と、學課の専門化と分科。

第三に、兒童生活の實際的情緒的結帶と、論理的分類と配列との抽象的原理

是等の矛盾せる諸要素から異れる教育上の學派が出て來る。一學派は學課の主題の重要なる事に注意を固定し、子供自身の經驗の諸内容をこれよりも輕視する。彼等は次の如くに云ふであらう。

「子供の生活は瑣細な狭い粗雑なるものではないか。然して學習に依て廣大なる宇宙の充實せる複合せる意味の總てが啓示せらるゝであらう。子供の生活は利己的な自己中心的な衝動的なものであるか。然して是等の學習の中に眞理と法則と秩序とを有する客觀的世界が見出される。子供の經驗は其時々氣隨と事情との爲めに混亂せる漠然たる不確定なるものであらう。然して學習は永久普遍の眞理の基礎の上に整頓せられたる世界即ち總てが測定され定義されたる世界を紹介する。それ故に吾人は教ゆ、子供の個人的特質や氣まぐれや經驗を無視し極小にせよ。是等は我等が除去するを要する所のものである。教育者としての我等の仕事は正に是等の表面的な偶發的事項に代ふるに安定せる秩序よき實體事實を以てする事であり、それは勉學と學課の中に見出される。

各問題を諸學科に、各學科を諸課程に各課程を專問的な諸事項と諸式とに順を追ふて分類せよ。子供をして一步一步是等の分たれたる諸部分の一一を收得すべく進ましめよ、かくして彼は遂に全體的基礎を獲得するに至るであらう。全體として見たる時は極めて長く思はれたる道も特殊的段階の一系列として考へらるれば容易に通曉せられる。斯くして主題の論理的細分と連絡とが強調せられる。教授の問題は論理的部分と順序とを與ふる題目を得る事と、是等の各部分と同様に確定せる且階級に分たれたる方法に依て分類する事との問題である。主題は目的を與へ且方法を定める。子供は只成熟せしめらるべき未成熟者である。彼は深めらるべき表面的存在者である。彼の狭き經驗は廣くせられねばならぬ。彼は

受入れ取入れる者で、彼が従順に教へられる様になつた時に彼の役目は果されるのである。

「さうではない」と他の學派は云ふ。「子供は出發點であり、中心であり、目的である。彼の發達彼の成長が理想である。そのみが標準を與へる。子供の成長にすべての學科が役立つべきで、各學科はそれが成長の要求に如何に役立つかに依て價值付けられる。人格や性質は主題以上のものである。知識や教示ではなくして、自己實現が到達點である。智識の全世界を獲得して自己自身を失ふは宗教に於けるが如く教育に於ても恐るべき運命である。且、主題は外から子供の中に入り得るものではない。學習は能動的なるものであつて、内から出發せる有機的同化を實質とする實に我等は子供と共に我等の立場を持ち、彼から出發せねばならぬ。學習の性質と分量との兩方共に定むる者は子供であつて主題ではない。

唯一の意義ある方法は、心の方で出掛けて同化してゆく處の『心の方法』である。而して教科の主題は、靈的食物即心への滋養材料に他ならぬ。主題それ自身だけでは消化して骨や肉や血になる事が出来ない。註、主題を與ふる際には之を受納し同化すべき素質が子供にあるかを先づ考へねばならぬ。主題が子供の情緒を動かし欲求を満し意志を働かせ、斯くして既知の經驗を豊富にし其心に融合同化されて始めて教育の育が全うされるのである。之に反し、凡そ學校内にて死せる機械的な形式的な總ての事物の原因は、正しく子供の生活や經驗課程に従屬せしむる所に發見せられる。かゝるが故に「勉強」はいやなものと同義語になり、學課は勞働と同様になるのである。

是等の二様の説に依て論ぜられたる子供と學課との此基本的反對論は、之を他の言葉に寫して述べる事か出来る。訓練」は學習の課程を擴大視する者の箴言であり、「興味」は「子供」を旗印に畫ける者の合詞である。前者の立場は論理的で後者の立場は心理的である。教師の側に於ては、前者は適當なる訓練と學識とを強調し、後者は子供への同情と其自然的本能を知る事とを要求する。「指導と統制」は一學派の、「自由と創始」は他學派の常套語である。一方に於ては法則が確立せられ、他方に於ては自發が要求せられる。保守派は多年の勞苦の中に達成せられたるものゝ保存を尊び、急進派は新鮮と變化と進歩とを喜ぶ。惰性と習慣性、混沌と無政府なる批難を前より撃ち後より返してゐる。義務の神聖なる權威を無視せるかと一方が叫べば、暴君的專制主義に依て個性を抑壓せる者よとの反擊に會ふのみである。

(以下次號)

短 信 (三)

倉 橋 惣 三

保姆諸君と園藝趣味

いゝ季節になりましたな。ときに、あなたの御趣味は……。それはもう多方面であらつしやるに相違ありません。殊にモーター——悪口じやないのですよ——なところに、私達古いものゝ知らない澤山の趣味もあありでしやう。いづれも結構ですが、私は一つ、幼稚園保姆として季節柄似合ひの趣味をちすゝめして見たい。それは園藝です。趣味をすゝめるなんて、われながら無趣味な言ひ方ですが、まあ聽して下さう。

私は始終申してゐることですが、幼稚園保姆のは、たゞらきには、子どもの生活へ參加してゆくことに、子どもを生活へひき入れて來る必要もあります。生活へひき入れて來るには、先づ、そこに生活が行はれてゐなければなりません。つまり、あなたが、先づ自分の生活をしてゐなければなりません。生活といふのが大げさなら仕事と言つてもよろしい。いづれにせよ、其の場合一番肝心なことは、あなた

が御自分の趣味を以て、その仕事に身を入れてゐることです。此の場合、子どもをひき入れる力は、仕事そのものよりも、あなたの生活態度にあるのですからね。われ笛吹けども君踊らず、といふ言葉がありますが、お役目で吹いてゐる笛では、誰れだつて連れられようもありません。しかしね、いくら自分に面白い笛だからといつても、子どもが、ついてゆけないような節では、子どももたかく立つて聞いてゐるだけでしよう。そして、仕舞にはほかへ散つて行くでしよう。つまり、その仕事があなたの趣味に出づるものでなければ駄目なのです。尤もね、いくら御自分の趣味だからといつて、幼稚園の保育と無關係のフランス刺繡に夢中になつてゐたり、一段と實用的にビーズ細工の手さげなんか編んでゐるのでは、如何に美術的だといつても、それでは勤務上餘りに美的生活になり過ぎます。そこで、幼稚園保姆と園藝趣味といふ結びつきになつて來るのです。園藝ならば子どもの興味にもあふことすし、小さい手でも手傳ひ——即ち生活参加も出來ることすし、それに、幼稚園の庭がきれいになることすし、ら。

但し、園藝趣味の正面論は私が更めて説くまでもないことです。それよりも言つて見たいのは、幼稚園の保姆諸君が、案外此の園藝趣味をもつてゐられないのではないかといふことです。第一、あなたはどうぞすかな。それはね、園藝趣味にもいろ／＼缺點はあります。お顔が日にやける、大事なお手が土にある。之れは誠に恐るべき大缺點かも知れませんが、しかしそれは、つば廣の經木帽子を紅紐か

なんかで白い頬へ結び、浮世繪にある早乙女の意氣な手甲の代りに古手袋でもお用ひになれば、いくらでも防げることでしよう。のみならず、そうしたあなたの後姿を花壇の間に見ることは、又格別に美しいものです。

話は兎に角どうぞ、是非一つはじめませんか。なんですつて、保育が忙しくて暇がありませんつてなにを言つてゐらつしやるです。そこに立派な保育が出来てくるのぢやありませんか。

若し夫れ、——手を洗はないで其のまゝ聞いてゐて下さい。——自ら發達する自然を、その自然の理に従つて育て、ゆくといふ、幼児教育の第一原理のこゝろを、その園藝の中に味ふといふ愉快に至つては、それこそ、花も實もある趣味といふものではありませんか。

私がこんなことを考へてゐた時に、神戸の幼稚園に大層園藝趣味のある若い保母さんのゐらつしやる話をききました。實際一々お訪ねしたら各園に澤山ゐらつしやることでしよう。

幼稚園と家庭との聯絡の實際



横濱小學校附屬幼稚園

四月……此月は私達保姆にとりまして一番緊張した氣分で自らの職責を意識もし又新しき考慮をもちます時は御座いますが、また自らの足らざることをしみじみと思ひ起される時でございます。幼児の教育」の御求めにより「幼稚園と家庭との聯絡の實際」につき筆はとりましたが、年を重ねるに従ひ、所謂迷宮に入る様な感じのみいたし申上るほどの事も無く面はゆひ氣もいたしますが兎も角いたして居りますことを其まゝ申述べ御答といたしあはせて御教へを願ひたひと存じます。

今更申上げますまでも無く保姆と家庭の人と互に理解し合ひ同じ心で幼児にのぞみますことは尤も大切なことで御座いますし幼児の環境を知ります爲にもと常に聯絡に關しては特に心がけて居りますがさりとて之と申てとりたてるほどのこともないので御座いますが、條項的に記しますとまづ入園の當初に於て

- 一、幼児及家庭の狀況調査用紙を配布して記入を乞ふ事、にして居ります（三月號掲載諸園に於けるものと大差なき）
 - 二、入園後の幼児の狀況調査を時々いたします。
- 主なる項目を上げますと
- 一 此頃の家庭での遊びの様子と種類を知らせて

下より

一 歸宅後の間食と食事の御様子はいかがですか
 一 歸宅後非常にあつかれの御様子はありませんか

一 お寝みの工合はいかがですか

一 幼稚園の遊びで何を一番好まれる様ですか

一 朝喜んで登園されますか

一 歸りに寄道をして遅くなられる事はありませんか

一 其他に希望や御質問をお記し下さい

三、休暇中の生活状況調査

一 疾病の種類と日數

一 旅行の方面と日數

一 遊びの種類

一 其他：海水浴、遠足など

四、幼稚園に於ける仕事や希望につきての知らせをして家庭との歩調をとる様にして居ります

五、身體検査の結果を通知して體育上の注意をうながす

六、父兄會としては年二回ですが必要に應じて個人的に來園を求めて懇談する様にして居ります

七、保護者會より發行の雜誌によりて園に於ける大體の仕事、經過、希望といふ様なことを知らせます

大體以上の様な方法によつて聯絡をとつて居りますが、何等かの御參考になりましたなら幸で御座います。

○ 福島市 福島幼稚園

幼稚園に於ける幼児の保育は家庭と主義方針を異にしては其教育は全く無效に終ることは誰も知る處でございませぬ。依て家庭との聯絡を計りますことの必要は言ふまでもありません。當幼稚園の家庭との聯絡につきまして左に其の實際を申上ま

す。可なりの実績を擧げて居ります。

一、母の會 春秋二回

春期の母の會は専ら懇談を主とするために三日又四日に渡り少數づゝ母親又は之れに代るべき人に來園を乞ひ保育の實際狀況を參觀せしめ後受持保母を中心に全部の保母も列席茶菓の接待をし打解けて懇談をなす

秋期の母の會は全部の母姉を幼稚園に集め講演的に育兒衛生其他婦人一般に關する名士の（主に幼兒教育者小兒科醫師等）講演を聞く

此母の會の前に於て幼兒情況調を各家庭に配付して回答を求めて置く

二、家庭訪問

母の會の外保育者が家庭を相知ることは訓練統一を保つ上に於ても重要な事なれば保育に従事す

るものは必要に應じて各幼兒の家庭を訪問し幼兒の特殊の傾向につきて保育上の打合せをなす。又園兒の病氣其他家族中に不幸災難等のありし時は必ず訪問慰安をする。此訪問につき弊害の伴はぬ様注意することである。

三、付添人

入園當初一ヶ月間位は家庭よりの付添人がありますが付添人は一般に家庭の婢僕が之れに當りますので概して教育なき者なれば時として保育上有害にして屢々保育を困難ならしむることがありますから保育者は常に注意して彼等を教育することにつとめ到底改むること能はざるものに對しては家庭に通じ變更することある。

四、身體検査

四月末に身體検査を行います。此時は前以て檢

幼児の入園に就て保護者への一言

查日を家庭に通知し其日は家人の手傳を受けることになつてます。而して各自醫師の注意を聞いてまゐり大に参考になり喜んで居ります。

五、お遊戯會

十月三月の二回お遊戯會を開き家庭に案内をする各家庭に於ては母姉其他老人までが楽しみに年中行事の一にして待つて居ります。此外雛祭、武者祭、遠足、節分のお豆まき等には家庭の人々も参り園兒と一處に楽しんでくれます。

本年度から新らしき試みとして一學期に一度位づつお母さん方の参考となる幼兒教育に關する一般知識並に幼稚園にて氣付きし事柄及現在園兒の歌ひつゝある唱歌など印刷したものを園兒を通して家庭に配付することは母親教育ともなり園の凡てを知つて貰ふことゝもなりかたゝゝ良いと存じますので實行せんものと試み中でございます。

一、朝は九時までにお出で下さい。歸宅は當分早く致します。
二、幼兒の身體に異狀あるときは、登園を見合せ充分手當せられたし。

三、幼兒のトラホーム、シラクモ、百日咳、ハシカ等傳染性の病にかゝりたる時は速に休園又は適當なる治療を施して登園させられたし。

四、幼兒の睡眠は充分ならしめなるべく夜間の芝居活動寫眞等には連れゆかぬ様せられたし。

五、携帶品には全部幼兒の名を記し殊に傘には木札、長靴は間違ひ安いものですからよく分り安く記名せられたし。

六、登園の際金錢若くは危險なる物品は一切持參せしめぬ様せられたし。

七、手拭鼻紙は必ず持參せしめられたし。

八、服装は質素な筒袖又は洋服にてエプロンを用ひさせられたし。

九、先生を恐しい人にしないで下さい。

一〇、お子様の性癖は早く打明けていたゞきたいです。

一一、付添人あるものけるべく早くお離れ下さい。

一二、毎朝起きたらすぐ用便きして下さい。

一三、幼稚園に就て御不審の點は何にても御遠慮なく御相談ありたし。

(幼稚園への御希望又は御注意)

幼児情況調査

幼児の往復と日常生活

一、何時頃家を出て、何時頃帰宅しますか。

二、お宅から幼稚園まで大凡何分位かゝりますか。

三、朝は何時頃起き夜は何時頃寝ますか。

四、朝食前に何か食べますか。

五、間食は一日に何度位いたしますか。

六、お小使を使ひますか。使ふときはその金額はいくら位ですか。

か。

七、家に歸つてからお友達をもちますか。

八、主として誰がお世話をなさいますか。

衛生

一、大病にかゝつたことはありませんか(イ)あれば何病でしたか

(ロ)常にかゝり易い病は何ですか(ハ)

二、最も好む食物と嫌ふ食物は何ですか。

三、かみかり入浴を嫌ひませんか。

四、醫師にかゝることを嫌ひませんか。

五、耳垢口中の掃除を嫌ひませんか。

六、遺尿のくせはありませんか。

入園後の状態

一、よくねむりますか。

二、食事に變りありませんか。

三、入園前後の變りは何かありませんか。

次は入園後間もなく開く母の會のとき母親方へお渡しいたしますものでございます。これ等を話題として懇談いたします。ですからまだ午後の保育はありません。

談話要項

一、朝は九時までに登園帰宅は十一時半に園の門を出します。

二、手拭、鼻紙は必ずお持たせ下さい。

三、登園の際金銭食物若くは危険の虞ある物品は一切持たせぬ様御注意下さい。

四、携帶品には必ず名を記し殊に傘、靴、お辨當などには明瞭

におしるし下さい。

五、帽子のふちに細き紐を輪にして付け折釘にかけても落ちないやうにいたしたいものです。

六、御子様の身體に異狀を認められた時には登園を見合せて大切にしてください。

七、傳染性を帯びたる病にかゝりたる時は登園を見合せ速かに治療せられたいものです。

八、睡眠は充分ならしめて芝居活動等の見物にはあまり連れ行かぬ方がよいやうです。

九、早く寝て早く起きる習慣をつけたいものです。

一〇、頭髮、耳垢、手足の爪に氣をつけて下さい。

一一、食事の度に手を洗ふ習慣をつけたいものです。

一二、朝の目ざましや買食ひのくせをつけたくありません。

一三、お辨當は在園中の一番楽しい時ですから成るべく人まかせにせずお母様がおこしらへになつて下さい。

一四、自分で出来ることは自分でせよの習慣をつけたいものです。

一五、一度御子様と約束なすつたことは守つて下さい。

一六、厚着の習慣をつけたくありません。

○ 石川縣女子師範學校 附屬幼稚園

春もやう／＼に甞けて世は新緑に包まれ身も心のびゆく頃、多數の新らしい園兒にとりまかれ皆様には囁輝やかしい日々を御送りの事と存じます。

今度私共の幼稚園と家庭との聯絡の實際について拙ない稿をこゝにお目にかける事になりましたが皆様の御批判を仰げればまことに幸と存じます。當園は四季の自然に恵まれた兼六園に近く、市の中央に御ざいまして通園の便のよい事と、修了園兒は無條件で附屬小學校に進まれる爲にか應募者が非常に多いのでございます。併し年長年少の二組のみで人數も二十五名づゝの定員となつて居りますので、毎年數倍の志望者中より新入兒を選

抜して居りますが、まことに私共にとりまして心
苦しい事の一つで御ざいます。選抜調査は毎年三
月上旬に致します。校醫の身體検査と私共の簡單
なメンタルテストによつて發育の余り遅い御子様
には遠慮して頂く事にしあとは抽籤によつて入園
を定めて居ります。抽籤の時等附添は勿論幼い御
子様までがいぢらしい位に緊張してゐられる御様
子は實に涙ぐましい位で御ざいますして出来る事な
らどの方も入れて差上げたい氣が就します。

この様な入園難をも願みず志願なさる父兄方
ですから極めて理解をもたれてゐる事を喜んで居
ります。それで別に幼稚園と家庭との連絡につき
ましては特に新しい方法も講じては居りません
が、自發的にいつもいつも園の方へお出下さいま
してお子様についての一切かくす所なく私共に御
相談を頂いて居ります。併し當園は小學校との關
係上、又敎生が出ます等の色々の都合のために毎

週水曜日金曜日を心ならずも主として父兄方の參
觀日と決めてゆつくり御懇談を致します様にして
居ります。

家庭との連絡についての主なるものは大體次の
様なもので御ざいます。

一、環境調査

別紙に示しました様に入園の際これを提出して
頂いて参考に致して居ります。

二、家庭訪問

入園早々に私共が家庭を訪問して途中の状態か
らお室の様子までも見せて頂いて家庭における生
活狀況を親しくお聞きして居ります。

三、保護者會

運動會、音樂會、演習會、講演會を聞いて親し

く幼児の實際を見て頂いたり、又お互に幼児教育についての研究を致して居ります、其の折には校長主事が出席しまして園の性質保育方針について必ず申しのべる事に致して居ります。

四、通 信 簿

毎月身長、體重や出席状況を通知する外、幼児についての私共の時折の感想や又父兄方の御意見を交換するためにこれは使つて居ります。

五、其 の 他

幼児の食量、間食、睡眠、入浴、家庭行事、作法等についての調査を家庭と共にする事も御座ります。

以上の様に家庭との連絡に就きましては種々心がけて居りますが、猶私共の期待する所は家庭と幼稚園とが幼児にとつての一つの生活の両面で、

決して幼稚園に委せて事足れりとする父兄達でありたくない事で、要するに幼稚園を理解して頂きたいと云ふ事で御座います。

幼児環境調査

一、児童氏名(フリガナツケ戸籍面通りの文字で)保護者との続柄

一、児童の生年月日、戸籍面通り

一、児童の出生地

一、出生の状態(安産、難産、人工産、早産、遅産)

一、原籍地族籍(華族か士族か)

一、現住所

一、保護者の氏名(父親なくば母親の氏名、両親共なくば後見

人の氏名(児童との続柄)

一、家庭の職業(なるべく具體的に)

一、祖父母の有無、年齢

一、父親

年齢 實父ですか繼父ですか

教育程度(出身學校名等)

飲酒の有無及量

重なる趣味

一、母親

年齢 實母ですか繼母ですか

教育程度

重なる仕事

趣味

一、兒童は兩親の内どちらの方に比較的よく似て居ますか

一、兄、姉の年齢及現在の境遇

一、弟妹の年齢

一、傭人の有無、人数、年齢、性別、教育程度

一、其他の家族、年齢、種別(兒童との關係)

一、前年度所得税年額

一、何宗教ですか

一、兒童の心身に特に遺傳して居ると思はれることはありませんか

一、家庭の周囲に兒童の教育上特に影響するものはありませんか

一、友人は誰ですか

一、家庭にて觀察された兒童の長所、短所

一、感覺器管に故障はありませんか

一、特に兒童の教養上注意をしてほしいと思はれる事項がありませんか

一、兒童を將來どんな方面に進めようとお思ひですか

其他参考事項

○ 愛知縣 岡崎市立幼稚園

親の膝下を離れたことのない幼兒が生活を一變して幼稚園に通ふやうになると幼兒は恐れと好奇とによつて満されてゐるであらう。それだけに保育の方針について考へねばならぬことが多々あるであらう。それが爲め幼稚園からいへば家庭を家庭からいへば幼稚園を理解する必要はなからうかそこで本園に於ては大略左のやうなことを實施して居る。

一、入園に於ける懇談

入園式を終了したる後保護者に就て既往及び現在に於ける幼児の生活状態家庭の状況を聞きて環境を調査する。

二、母の會

家庭に於ける幼児の調査

別紙の印刷物に記入させ豫め幼児の生活状態を知り之れに依つて母の會の案を立てる
母の會に於ける家庭との聯絡

1 幼稚園の内容に就て講話をなし保育の方針及び實際に就て理解をさせる

2 幼児の生活状況に就て一般的考察をなす

3 相互に知りたる後直接に話しをして聯絡をとる。

(イ) 幼児の個性に就て懇談をなす

(ロ) 幼児の躰方に就て懇談をなす

(ハ) 異状兒に就て特懇談をなす

三、家庭訪問

(一) 毎學期一回或は二回家庭を訪問して父母兄弟と懇談し幼児の生活状況の實際に就て觀察をなし併せて幼兒全般についての一般の傾向を調査する

(二) 毎日歸宅の際には各方面の一定の場所迄送る事にして居る故隨時訪問をして幼兒の教育的環境に就て懇談をなす

四、懇談會

(一) 毎年三月三日雛祭に父兄母姉を招待し唱歌遊戯等の餘興後一般的に個性の方面に就て懇談をなす

(二) 毎年五月五日端午の節句にも大體前同様の懇談會を開く

實際的方面には大略右の如く行つて居る。然し家

庭訪問も始めの二回はお互にうちとけるところなくどうしても思ふやうに行へないで困るが絶えず訪問してゐる中にお互に理解し合つて實際心持のよいお話をして歸るやうになる。

かやうに實施はしてゐるがその効果に至つてはまだ十分とはいへないから幼児教育の爲め御指導を希望して筆をよぐ。

幼児の環境調査

幼児名

出生年月日

年 月 日 生

1、登園の際の態度

一、登園を好むか好まぬか 好む、好まず (どちらか一方を
けすこと)

一、好まぬ理由 〃

2、食物

一、好きな物 〃

一、嫌ひな物 〃

一、お辨當と家庭でする食事とその分量は何れが多いか 〃

一、間食は時間を定めて與へらるゝか 〃

一、間食は品物で與へらるゝか 金錢を與へて買はせらるゝか 〃

3、睡眠について

一、熟睡するか 〃

一、何時に寢させますか 〃

4、家庭で遊ぶ時の状況

一、朋友と遊ぶのを好むか好まぬか 〃

一、どんな朋友を好むか 〃

一、内で多く遊ぶか外で遊ぶか 〃

一、多くどんな遊びをしますか 〃

5、今までに大病に罹つた事がありますか。あらばその病氣は何ですか 〃

現在に時々起る持病がありますか 〃

6、着物は和服を好み洋服を嫌ふやうなことはありませんか 〃

7、躰けについて家庭でお困りのことがありますか 〃

8、電話

自宅 番
呼出 番



愛媛縣今治市

昭安幼稚園

四面海の小さい四國の地幼児保育のよく整つた岡山地方を近くに控へながらどこへ行くにも船や

汽車のお蔭を澤山に借ねばならぬ身には自然に總てが大變に遅れがち。同じ四國の土地にも立派な

お隣の香川縣も有りますに幼々として鈍い歩みには今更らお恥しく存じます。昨夏新庄先生を東京

よりわざわざ御來縣願ふ幸を得て吾縣下の爲に吾縣下保育教育の上に酷暑をもちとひなく三日間

實地指導保育を賜り保育の御講議に何かと縣下保姆並に學校低學年教師の方達のどれ丈に啓發され

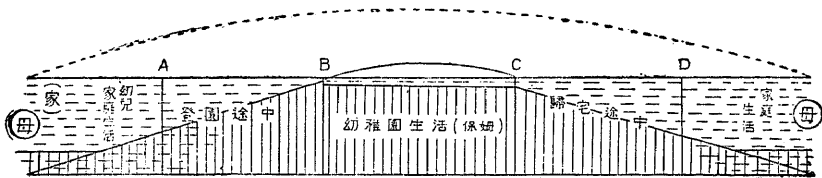
た事でせう。強い強い輝を與へられました事を今更に深く感謝致しております。文化の上に恵まれ

ない地ことに幼児教育は細々として歩みを續けてあります。決して都會のその如く周圍は多くの理

解を與へません。なさねばならん方面はいくつも横たはつてゐます。思はぬ大きい蹉跌も有ります。然しどこへ行つても母性愛の變りを持ちませぬ以上小さいながらも其の愛にその力に幼児教育は不斷の努力を拂はれて行きます。

幼稚園と家庭の聯絡の必要など今更ら申上る迄も有りません。幼児の生活が如何に斷片的に動くにしても幼児家庭生活は幼稚園生活に其のまゝの流れを持ち其のまゝの動きを持つてむかひ、幼稚園生活がいつも家庭生活に有つても幼児生活中心作用の上に大きい力がありまます事を信じます。が故に常に保姆は眞の母親に、母親は眞の保姆に共通な多くの點を見出します。眞の母は献身的生活を送ります。眞の保姆も又此の貴ひ母性愛を根底に總てを及さなくては何のその教育「行」はなされないで有りませう。保育教育の道は唯母性愛その道であり絶對的なその愛に待たねば決して一瞬

幼 兒 生 活 全 體



A ヨリ幼児ハ登園ノ爲ニムカフ家庭的生活気分ハダグダシウスラガ

B ニ到リ幼稚園ニ入り全ク幼稚園生活ヲナス

C ヨリ又家庭ニムカツテ歸ツテ行ク途中

D ヨリ歸宅スソウシテ家庭生活ヲ始ム

ナレドモ幼児ノ生活ハ全ク家庭ニ入りタル後モ幼稚園生活ノ餘韻ヲ殘シ常ニ相重
ムル気分ヲ持ツ其ノ生活ヲ明瞭ニ區別サレテキナイコトガ當然ダ夜ト晝トハ明瞭
ナレドモ其ノ域ヲ明ラセザルガ如シ

家ト園トハ相違ハスレドモ其ノ域ニオイト気分ノ上ニ明ナラズ 而シテ常ニ保姆
ハ幼児生活中心ヲ常ニ幼稚園生活ニ迄進展セシムルヤソウシテ家庭生活ト幼稚
園生活トノ全キ聯絡ヲ計テ矛盾ナキヤウ保姆ニヨリテ其ノ行ヲ計ル

時もなされて行く事の不可能なものと思ひます。
そこに全き幼児生活はより高く進められより美し
くなされて行くものと確信します。開園以來こう
した點御母様方幼児家庭生活を中心に進んで参り
ました。年中機會のある度に御母様達は登園され、
幼稚園の行事や努力の方面に充分の理解を持ち、
家庭生活と幼稚園生活の遠い隔りの爲に起る様な
種類の問題は非常に少ないやうに務められてゐま
す。一方に幼児幼稚園生活實際、發達の情況等を
よりよく理解願ひ幼児之幸福を計る爲に園の方に
も保姆達は出來得る限りの努力を怠りませぬ。取
り立て、申上る程の事は有りませんがその事項の
中より列記して諸先生達の御指導に預りたく祈り
上げます。

一、三五・三六頁上欄のものにより入園當初より
その聯絡を計る。

二、毎月始に生活豫定表を家庭に送り行事及び生

幼兒通園路ト觀察事項

(裏面は通園の路筋を示す地圖)

園内生活觀察 ノ實際自然界 事	昭和五年度							著シク表ハレシ イケナイ傾向 著シク表ハレシ イケナイ傾向 良イ傾向 ヨクナイ傾向 イ、傾向	動 作	習 癖	言 語	氣 質	歳
	家庭ノ狀況												
	祖 父	兄 姉	家 趣	健 家	同 居	家 庭	希 望						
自然界 自 宅 環 境 ノ 實 際 界 觀 察 ノ 實 際 事													
自然界 自 宅 環 境 ノ 實 際 界 觀 察 ノ 實 際 事													
自然界 自 宅 環 境 ノ 實 際 界 觀 察 ノ 實 際 事													

活の一部を知らず必要に應じて歌詞御話等を知らす。(次頁の例表は昨年度六月保育豫定)

三、樂しき遊びのあとを偲ぶ由にて畫手技等を家庭回覽の爲送り批評頁に母様の手にて随分に多くの記せられしものが園に歸つて來る。

四、毎月誕生日を持つ御母様達が其の月中園との連絡の上に御世話下さる。特別な催や計畫の發展を助け下さる。

五、遊びの材料として各家庭より廣告紙、プログラム、マツチ空箱、キヤラメル箱、卷煙草箱、カマボコ板、麥ワラ、貝ガラ、等は絶ずも母様達の注意により園内生活の暖い光を與へます。

六、母姉會が組織されてゐます(卒業園兒及在園兒の)母姉により決して形式的な名の會合でない事と何よりの力として常に開かれて行きます。醫士により幼兒病氣につき繼續講義を受け必要に應じ常に他の講習會を開く等。

活 生 ノ 月 六

自然 主要 事項	人事 主要 事項	事項 注意	談 話	遊 戲	唱 歌	手 技	季節ノ影響 リス共同遊ビ
夏ノ仕度 一、麥及ビ豆刈 麥藁 ムギハラ細工 ムキノ粉 エンドウソラ マメ 大豆小豆 二、新緑 時季ノ果物 梅・桃・イチ ゴ・ビワ・橙 三、苗代 (園外保育) 四、梅雨 カビノ生エル コト雨暈・川 田 五、動物飼養 カタクムリ カニ、ホタル 蝶 六、養蠶(上簇) 七、春タネマキ シタ苗ノ植エ ナホシナス、 キク、コスモ ス等 八、朝顔ノ手入	衣服帽子傘其ノ 他 託兒所バザー 舊五月節句 武者人形 幟 幼兒色觀念調査 町ノ變化 氷屋ラムネヤ ノ店ノ多クナ ルコト 水マキ 雨具 鐵橋 中甸 保護者會	日ヲ選ビテ麥藁ツ ミニ行ク (鳥生方面へ) 園内觀察 前月種マキチシ タ アサガホ 野菜ニ大變面白味 ヲ持チマス 花園ノ手入及草花 觀察力が大變ニ盛 ニナツタ 草花ヲ愛スル心チ 養フヤウ 園外保育	焦ツク ヤタ鳥 羊ト狼 豚ト鳩サン 御菓子ノゴ テシ	笹ノ舟 雨 蝨コイコイ 母サンオドリマ セウ(ダンス) リズム行進 テヨコレイト テレル坊主 前歌練習	笹ノ舟 (前月豫定ノ モノ都合ニ テ本月 蝨コイコイ テヨコレイト テレル坊主 前歌練習	前月餘リニ粘土 細工ヲ趣味ヲ持 チシタメ 豆細工チナサズ 前月豫定通り 六月分 メリエ帳 粘土 佐禮ノ犬ヤ人 色合セ遊ビ 夜店ノ賣物 製作 折紙切紙 自由畫 縫ヒトリ	八百屋遊ビ 夜店遊ビ シヤホン玉 菓ツナギ 食堂遊ビ 色合セ遊ビ

七、夏季山間保育を二週間若き母姉の方達も共に過す。決して思ふ存分の設備もありません。決して多くの運動具もございませぬ。整つた保姆もありません唯々絶ざる熱と絶ざる愛の力に園内常に清く流れ暖くふく風にやはらかならざるほいを與へられて行きます。

秋の運動會にエプロンや運動着を全部園内にて母姉の方保姆の手にて造ります。絶ざる園庭之果物に舌つゞみしつゝ。創立記念日や忘年會を園遊會の會食にお母様達の親しさをます事は泪ぐまし程に、歩みつゞけます。

こうした行 こうした聯絡、こうした親しさ、それは私立園個人經營の持つ特權私立園之持つプライド唯園の本質をそこねはせぬかと老婆心を持つ。小使一人おなくても保姆四人献身的に終日百人の幼兒に寢食忘れての歩みに幼兒生活は營まれて行きます。

海に近い所の幼兒、文化に恵まれない幼兒の上に切に幸福を祈りつゝかく書き終りし事を深く謝す。(五、四二八)



神戸慈光幼稚園内

われらの幼稚園ではすべて宗教的に教養してあります。たくさんの園兒はみなみ佛さまのお子供神さまの愛兒と心得て、私達保姆はその大切な神の子に奉仕させて頂きみ佛の子をお護りする覺悟でかしづいております。もし園兒に心身のうへに過ちでもあれば私達の信ずる佛さま神さまに相濟まぬと存じましてつねに高あがりをせうとする憍慢の心を慎しみ懺悔の心で仕へております、うつかりすると教へるとか育てるとか申す無反省な考へが起きましてお恥かしく存じております。

なほ家庭におきまして神さま佛さまの御冥見

や御冥加を忘れぬやうにすべてに向つて感謝報恩と勿體ない有り難いといふ習慣をつけて頂くやうに依頼してあります。殊に一週間のうちに日曜だけは子供デーとして食卓を圍む時は子供を上座に据へて云ひたいことを云はせてほんとうの佛の子とし神の子としての恥かしからぬ言動を守らせて頂いてあります。

而して日曜にはお父さんとお母さんも一所に子供を連れて幼稚園に来て頂いて、みんな一所に、讚佛歌をうたひ、お遊戯をもし、教養の高い先生からためになるお話を承はつて嬉々として解散するやうにしてあります、その他に別に窮乏なしごとはしてありません。

農繁期托兒所 兼保育補習 講習會

主催 淨土宗務所社會部
會 通 會 館

- 一、期 間 昭和五年五月二十五日(日)より同二十九日まで五日間
- 一、時 間 毎日午前八時より午後四時 まで三十五時間
- 一、會 場 東京市小石川區表町傳通會館(市電傳通院前下車)
- 一、定 員 五十名
- 一、會 費 金壹圓也

一、宿 泊 希望者には會館にて一日金壹圓位にて宿泊の便宜を計ります

一、申込期日 來る五月二十三日迄
一、申込場所 1、東京市芝公園地淨土宗務所社會部
2、同市小石川區表町傳通會館

- 一、講師並に講題
 - 一、幼 兒 の 心 理 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三
 - 一、幼 兒 の 宗 教 々 育 陸軍教授 大村 桂巖
- 一、佛敎と社會事業

一、佛 敎 文學博士 矢吹 慶輝
要 項 大正大學教授 大野 法道

一、音 樂 弘田龍太郎

一、遊 戲 瑞穂幼稚園長 土川 五郎

一、讚 佛 歌 遊 戲 賀來 琢磨

一、お 話 の 仕 方 東洋幼稚園長 岸邊 福雄

一、幼稚園托兒所の經營 東京府社會事業主事 朝原 梅一

一、農繁期托兒所の實際 傳道會館主事 鈴木 積善

醫師の立場から見たる幼稚園と

急性傳染病 (承前)

醫學博士 島 信

七、麻 疹

麻疹は固有の發疹及粘膜の加答兒を特徴とする疾患であるが未だ其病原體は鮮明されて居ない。患者の血液、鼻腔、口腔及結膜の分泌物中に病原體の存在することは明である。病毒は非常に揮散性で人から人に容易に傳播し、其感染能力は前驅期から發疹期に於て最も著しく、發疹前五日位から既に傳染力がある。従て家庭に麻疹患者が出、發疹した時には同棲して居る他の未患同朋は既に傳

染して居り潜伏期第五日に相當して居るのである。解熱後には傳染能力は速に消失するものである。

罹患年齢は二歳乃至五歳のものが最も多い。五ヶ月以内の乳兒は殆ど罹患しない。此れは胎内に於て母血から貰た免疫物質があるのと初生兒期に於ては母乳を介し多少の免疫物質が攝取される爲めに免疫性になつて居るからである。然し此の被働免疫は五ヶ月位から段々無くなつて行き一方外からは供給されないので感染する様になり一年前後

は最も免疫性のない時機即ち抵抗力の最も弱い時機であるから罹患すると危険に陥り易いのである其後になると段々自然免疫性が體內に出來抵抗力が強くなる。ト五歳以上になると罹患することは又稀である。此は自然免疫性を得る爲め罹患しない事もあるが大多數のものは幼時に本病を罹患して免疫性になつて居る爲めである。一度本病に罹れば終生の免疫性を得るものであるが稀には再感染することがある。

本病は何れの時季にも流行し得るが春秋が多く晩秋から冬を越し春先迄流行するのが普通である。一度流行があると罹患すべき人間は殆ど總て罹病する爲め流行後一二年は罹患すべき人間少く三四年後になると又罹患し易き人間が出來て來る爲に流行が起るのである。従て麻疹三四年毎に大流行が起るのである。

麻疹の全経過は次の如く四期に分つことが出來

る。

(一)潜伏期。感染してから病狀を呈する迄の時期で十一日間て此間は傳染して居ても全く健康である。

(二)前驅期。此れは三日乃至四日て粘膜に加答兒症狀現はれ噴嚏、咳嗽、羞明を來し同時に體溫上昇し食欲減じ不機嫌になる。口腔粘膜に發疹しコブツク斑と稱し頬粘膜の白齒に相對した所に小さな白い點が數箇發生し此の周圍は發赤した粘膜の狭い暈輪で圍繞されて居る。此が麻疹の早期診斷に大切なものである。此れが認められなければ早期診斷は不可能で感冒との區別は全く出來ない。早期發疹と稱し顔面に境界不明の暗赤色の發疹が生じ一二日て消褪することがある。熱は三十八度前後のことが多く前驅期の終には一時下降する。

(三)發疹期。感染第十四日に至り皮膚に麻疹特有

の發疹が現はれる。一時解熱した體温が再び上昇し三十九度時には四十一度迄も上昇し同時に發疹が起る。輕症では二日間て解熱するが時には四五日間高熱が續くことがある。發疹は帽針頭乃至豌豆大の紅斑で皮膚面から少し隆起して居り顔面及耳殼の前後に初發し頭部頸部軀幹四肢の順序で全身に蔓延し殊に顔面の中央鼻口唇頤部に密生する。初めは小なる獨立した丘疹であるが後には隣のものとの融合して瀾蔓性潮紅の不規則な輪廓のものとなる。然し四肢のものは丘疹多くは孤立し融合することは少い。發疹は初めは鮮紅色だが後暗赤色に變ず。

皮疹の出現と共に前驅期に存在した粘膜の加答兒症狀は増悪し氣管枝加答兒の併發すること多く時には肺炎と併發し危険に陥ることがある。衰弱の甚しい小兒或は不攝生の爲め冷したりすると發疹の出方悪く或は一時發疹したしたものが急に消

失し熱も高くない様なことがある。如此場合には氣管枝炎肺炎等強く所謂内攻して重篤となることが多い。從て熱高からずとも衰弱の度強さものは注意しなければならない。

(四)恢復期。發疹は出現したと同一の順序で褪色し甚だ小なる糠糝狀落屑を初め三日乃至七日で完了する。發疹期の終りに最高に達した體温は分利狀又は換散狀に下降し同時に一般症狀良好となる。眼鼻腔の炎症は速に消退するが喉頭及氣管枝の加答兒は徐々に輕快し嘔聲咳嗽喀痰は數日間持續するものである。

麻疹は順調に經過すれば四五日て殆ど全快するもので恐るべきものではないが非常に抵抗力を弱める疾患である爲め種々の合併症を起し易く危険に陥ることが屢々あるので油斷のならないものである。殊に屢々遭遇するものは中耳炎、肺炎口腔鼻腔の潰瘍等である。發疹後四日を経るも解熱し

ない場合には併症あるものと考へて注意しなければならぬ。又麻疹と重要な關係のあるのは結核である。此れは麻疹の経過中に結核に對する防禦力が消失するからであつて、潜在性結核を活動せしめ又既にある肺結核を増悪させることが屢々あり麻疹に續發して粟粒結核の起ることが往々認められる。

豫防法として麻疹患者に接近せぬ様にすることが尤も必要であるが前述の如く發疹前五日即ち麻疹の發病しない内或は麻疹の診斷が下されない内に既に傳染力があるのであるから此を早期に隔離し或は接近しない様にすることは不可能で且つ傳染力の非常に強いものであるから豫防が困難で時々大流行が起るのである。麻疹患者に接した場合或は家族に麻疹患者が出來た場合には未患者殊に幼弱のものには豫疹することが必要で此れは出來るのである。即ち回復期患者の血液或は兩親の血

液を注射すれば其時期と血液の量とによつて完全或は不完全に豫防することが出来るものである。従て虚弱兒或は結核のあるもの或は一年前後の幼兒は感染の機會があれば豫防注射を是非行ふべきである。

看護上注意すべきことは麻疹は一度は罹患するもので心配のないものであると油斷せず攝生に注意し殊に口腔の清潔に注意し氣管枝炎肺炎の豫防を怠らぬ様にせねばならない。又回復期の油斷から肺炎或結核等の起ることがあるから少くとも解熱後一週間は入浴外出等はせず保養に注意することが肝要である。

八、猩紅熱

猩紅熱の病原體は未だ確定されたとはいへないが溶血性連鎖球菌の關係あることは確かである。傳染性は麻疹の如く甚大ではない。直接或は

間接に器具を介して傳染する。病原體の侵入所は扁桃腺及咽頭である。時には皮膚粘膜の損傷に續發する創傷性猩紅熱もある。

本病は發病第一日より傳染性有り。漸次減少し通常隔離期間を六週間とすれども落屑完了すれば六週以前に於ても隔離を解除してよい。季節は春秋に多く冬此に次ぎ夏季は少い。年齢は三年乃至六年に最も多く一年未滿及二十年以後は稀である。一度本病に罹れば終生の免疫を得再感ずることとは殆どない。

本病の経過は次の三期に分つことが出来る。

(一)潜伏期。此は不定で傳染後二十四時間以内に發病することもあるが多くは三日乃至八日の潜伏期があつて此の間何等の病狀を發しない。

(二)發疹期。本病は麻疹の如く一定の前驅期なく突然發病し嘔吐咽頭痛等の症狀を起すと共に發熱發疹するものである。時には發熱咽頭痛ありて一

二日の後に發疹することもある。發疹は特有で極く小さな鮮紅色の斑點で密生し一見境界劃然たらざる紅斑の樣に見ゆるが注意して見ると各小斑點の間に常皮を認め得る。たゞ顔面の發疹だけは融合して光輝ある鮮紅斑となる。發疹部に指壓を加へれば紅色消へて黄色となり次で又潮紅する。皮疹は通常頸部及軀幹に現はれ其後四肢に蔓延し二日後には殆ど全身に出現する。顔面に於ては口の周圍に現はれず基底を頸部にし頬を左右に見る口圍三角形の帶黃蒼白部が出来る。此れは猩紅熱に特有なことで麻疹其他との鑑別に役立つ所見である。關節の屈側に屢々小なる點狀出血を起すことがある。或は又毛囊の尖端に小水泡或は硬き滲潤の生ずることがある。發疹は第三乃至第五日より發生の順序に従て褪色し第二週の初めには全く消褪して次の落屑期に移る。

體温は突然惡寒戰慄を以て三十九度乃至四十一

度に上昇すること多く第三乃至第五日より下降し八日乃至十二日で全く解熱する。輕症にては一二日間三十八度前後の發熱があるだけの事あり重症では高熱が長く稽留することがある。脈搏は體溫に比して多いのが普通である。時には體溫比較的低く脈搏の非常に多いことがある。時には發熱と同時に嘔吐痙攣を起し非常に重篤な一般症狀を呈することがある。一般には食欲缺損、倦惰、不安咽頭痛を訴ふ。咽頭粘膜は暗赤色を呈し扁桃腺發赤腫張し屢々帶黃白色の斑點が認められる。口狹炎と共に兩側顎下淋巴腺腫張し壓痛を伴ふ。舌は初め厚き苔を被るも三四日後には全く剝脱して鮮紅色を呈し乳頭著しく隆起し覆盆子狀或は猫舌狀となる。

(三)落屑期。多くは第二週時には第三或は第四週になつて皮膚の落屑が始まる。此の落屑は特有で先づ毛囊の尖端に點狀に始まり次で膜狀に剝離す

る。顔面では小鱗片狀頸部軀幹では膜狀に落屑し手掌足蹠では殊に厚く大きく剝離し時に手形足形のみ手袋狀に剝脱することがある。落屑の完結するのは五週以後で時には六七週間もかゝることがある。

合併症として最も恐るべきは壞疽性扁桃腺炎で敗血膿毒症を起して斃れる事が多い。其他淋巴腺炎、頸圍蜂窠織炎、關節炎、中耳炎等を起すことが屢々ある。

續發症。猩紅熱は以上の經過を以て治癒するか一旦解熱し落屑期に入つた後往々一定時期即第十二病日遅きは第六週、最も多く第三週の終り或は第四週の始めに腎臟炎、淋巴腺炎、何等他覺的症狀なき發熱、再發、心内膜炎、多形性發疹等を起すことがある。

本病は我國內地のもものは重症は少いが朝鮮滿洲に於ては非常に重症のものが多い。

豫防法としては咽頭が病毒侵入門戸である故に口腔の衛生を重ずべく患者に接近せぬ様注意し患者は少くとも六週間隔離し家族に本病發生したる場合には同棲したるものは二週間登校を禁ずべく患者の觸れた器物は嚴重に消毒することを要す。豫防注射も行はれて居るが其效は未だ明かでない。

九、風 疹

風疹の病原體は不明である。傳染は咽頭よりするものと思はれる。傳染力は麻疹の如く強大で春秋に多く流行する良性の發疹性傳染病である。主

として幼兒學童が犯される。潜伏期は十五日乃至二十三日で前驅症は缺く事多けれども發疹前一兩日發熱惡寒食慾不振不快感等あることがある。潜伏期の末期から身體各部の淋巴腺殊に後頭部淋巴腺が小豆大乃至豌豆大に腫脹することが多く此れによつて他の發疹性傳染病と鑑別される。發疹は

麻疹又は猩紅熱の様であるが多くは散在性で麻疹と猩紅熱との中間の様な皮疹である。其色は淡紅色で後に色素の沈着又は落屑を起さない。典型的の皮疹は略同大圓形で周圍に貧血性の暈輪を有して居る。發疹と同時に熱發することが多いが發熱しないこともある。又發疹の初めに三十九度位の熱が一時出て間もなく解熱することもある。發疹は三四日で消褪し體溫も三日以内に平溫に復する。結膜炎、咽頭炎鼻加答兒等のあることもあるが極めて輕微で速に治癒する。

本病は經過も短く良性な傳染病で豫防治療の要なき程のものであるがたと麻疹猩紅熱との鑑別を必要とするので重要である。

巴里市公立幼稚園

宇佐美 敬

女子師範附屬幼稚園

日本に於ける師範附屬幼稚園と同様生徒の實地練習の爲めに設置されてゐる。幼兒數は全體二十五名位。その中すでに海岸に轉地したものもある(由(六月十日參觀)十四名であつた。一組で一人の先生が受持つて居られる満四歳から六歳までし、かし新學期は暑中休日後で満六歳に達しなくとも優良の小供は五歳何ヶ月で學校へ進むといふ。保育室には大きな先生の机が教壇の上にある、黒板があり幼兒の机の並べ方それが二人用のものである

點凡て日本の學校式である。しかし先生の机といふのは所謂教卓式でなく先生私用の大きなデスクでその上には先生のカバンから書物からいろいろのものがのせてある。學校でも同様であるが歐州(米國も)では日本の學校のやうに立派な教官室といふものは余り見ない。勿論先生の休息室はあるがそれで所謂先生の机は皆教室の一隅にある。幼兒の身長と机腰かけのつり合などは余りに考慮にいれて居らぬやうに見うける。別段の裝飾もなく小さな戸棚が一個おかれてあり据えつけのもの二個。積木が一つ籠にもられてあるのを見ると思

物を一つの玩具として取扱はれてゐるらしい。人形が二つ三つ出てゐて其衣裳箱がある。何しろ余り廣くはない部屋一つ、他に共用の遊戯室、庭も専用のものでなく本校の生徒と一緒にすみの方に小さくなつて遊んでゐる。其庭に何もない。實に何にもない。砂場さへないのである。勿論小供の自由に摘む事をゆるさるゝ草一本ない。海岸にもゆかれずに出てゐる幼児といふ事になるその小供たちは中以下の階級のものらしく見うけるが何れも顔色がわるく細く神経質らしく見える。いつた巴里で見る幼稚園の小供小學校の生徒も健康状態が余りよくない様に思はれる。公園などで遊ぶ小供を見ても同様の感じがする。師範學校附屬といつたならば小供の質も家庭状況も他より勝れてゐる筈の様に思はれるが、そして學校としても規定し暑中休日前に約半数も（たとへ幼稚園といつても）お休みさせるといふ點から考へて巴里に於

ける幼稚園が、教育の第一義の價値に就ては考へ方がよほど我々と違つてゐる事を思はせられる。

保育の實際を見る。まづお部屋にはいつて机の上をふき各自のお掃除がすむと先生がきれいな模様のある大きい殆ど自分の机面一ぱいになる紙を渡すと、皆それを机上にしく。小供の一番すきなお人形を前の方の机におき、これからそのお人形のお顔をこしらへるといふことになつて、人形のお首だけの素畫を一枚づゝ小供に渡す。小供はお行儀よくまつてゐると先生は長さ一インチ幅三インチ位の紙片に眼鼻口髪の毛等と文字の書いてある紙を與へるその紙を誤りなく顔の各部分におく先生は机間を廻つてその誤りを正す。次に先生はその中の髪の毛といふ文字を黒板に書かれてスベリングと發音の練習をする。可なり丁寧に一人／＼の誤りを正す。やがて小供はスベルを分割して帳面に幾つも書き、終りに髪の毛と綴る。先生は一々

その書いたものをなほされる。これが約三十分續く、その日は髪の毛といふ文字を習得したわけである。終つて先生が窓をあけて唱歌を始めた。ピアノは勿論オーガンもない。先生は音叉を持たれ自分で最初の音をしらべて幼児と共に歌はれる。アクビをする、ノビをする、他見をする、無理もないと思ふがしかし皆おとなしく可なりの長い時間の課業に堪えてゐる。感服する。

庭に出て二十分位遊ぶ。その庭は前に述べた通りである。

一寸、七八歳といふ組の唱歌と算術をのぞく。此處でも音叉を用ひて居られた。幼稚園の方を更に參觀する。計へ方の時間といふので、一人の子供に好きな玩具を八つ持つて來ることを命ずる。色の塗つてある立て、遊ぶ棒のやうなものを持つて來て先生の机の上になてる。一人を呼んで、一つをたほさせて皆に數へさせる。引き算のち稽古である。

次に二つと順次に計へ同時に先生が次のやうに板書する。そ 前に小供各自にお式を書かせる。

8-1=7 8-2=6 ……

$$\begin{array}{r} 8 \\ -1 \\ \hline 7 \end{array}$$

次に先生はその計算を板書される。幼児がまた此通りに書く。十以下の加減は幼稚園で教へる。計へ方は四十まで教へるといふ。

佛國人が智識に於て勝れた國民であり、ことに數學に於て世界一を誇つてゐるといふことを聞きますが、教育が非常に知的教育に傾いて居ることはたしかのやうですが、幼稚園のこの實際を見て余りの事に驚いた事です。あの弱々しい顔色のわるい子供たちを、かうした教育法で幼稚園時代を過ごさせることは如何のものかと考へさせられたことです。

公立小學校附屬幼稚園

巴里市は二十區にわかれ、各區に五個の公立小

學校があり、その各校に幼稚園が附屬し各百人以上二百人以上の幼兒を預る。十八區にある幼稚園を見る。

滿二歳より六歳まで百二十人余四組にわけて、先生が四人午前九時より午後四時まで、六時までの間に母親が迎へに来る。我國の托兒所のやうである。巴里の公立小學校は無月謝で中流以下勞働者の子供が多く學ぶ。自然場所も市のはづれ、工業地帯にある。日本の托兒所のやうなものはない。兒童預り所があるが、その事は後に記す。両親ともに働きに出る人たちの子供は皆、この公立幼稚園に預るわけである。上流の小供或は富裕の家庭ではナース、ガバナスが教育して余り幼稚園小學校に出さぬやうである。幼稚園の盛になりかけたのは約二十年前からで、特に大戦後その數も増し幼兒も増したといふ。

此幼稚園ではお晝はお辨當を持つて來、持たぬ

ものは日本金六錢で食事を與へる由、年長らしい主任の先生が親切に案内してくれ、各部屋を見る。此處もやはり學校式である。一室に三四十人はいるわけ、先生の工夫になれる教具ともいふべきもの、數に關するもの、文字の教授發音の稽古に用ゆる種々見せて説明してくれた。滿三四歳で十以下の加減を教へ計へることは百位まで。五六歳で乗除を教へる。文字は單語を教へ、書くことは年長組になつてする。その教具(玩具といひたいが余りに知的で何としてもおもちゃとはいへぬ)を澤山見たが、よくもかう澤山工夫したものとたゞ感嘆した。さてそれ等を如何に興味あるやうに取扱ふか實際を見ること 出來なかつたが、個人／＼に自由にといふ事はのぞめぬ事と思はる、故、多分師範の附屬に見るやうに、一せいにすることと思ふ。とにかくかうした方法のよしあしは別として、幼稚園でかうして數の取扱ひの初歩と文字とを教へ

て學校がその先きに續くとしたら可なりの進歩、時間の經濟と思はれる。學校初年級との連絡に就てたづねた。その級全部が幼稚園を経てゐるといふわけでないが家庭で母親なりナースなりが教育してゐるものも大體文字を持つてゐる。一方幼稚園では學校のやうに教授するといふわけではないから幼稚園からのものが皆同程度で文字が讀めるといふわけではない。そこで最初全級を一緒にして全く文字も數もないものと幼稚園からのと多少の文字のあるものと二組にするといふ。尙フランスには一年生の下に準備級といふのがあつて、おかれてゐるものは一年そこを経て一年級に上るやうな編成になつてゐる（アメリカのある公立小學校でも同様の編成になつてゐたのを見た）

幼兒のかいた繪を見せて貰つたが、大して日本の小供とちがはぬ、ぬりつぶしもする、型をあてても描く。先生の寫生などいふ可愛いゝゑもあつ

た。色の觀念を正しくいれる爲めの工夫かと面白
いと思つた。日本の櫻草のやうな花をきりぬいて
白紙の上にはつてある葉にやゝ濃淡がついて居る
他に同じ形にきりぬいた花と葉を幼兒がもつて、
その花の上に葉の上の一つ／＼おいてみるなどの
事を實におとなしく、しづかに、たのしそうにし
てゐた。恩物の箸環の應用として半圓四分圓の大
小の美麗式模様を先生が考案して單純な色で紙に
その模様をかいてあるのを小供に與へる。小供が
その上に環をならべる。又簡 な家とか、箱、戸
棚その他小供に近い器物を色箸の太さに縁をとり
つまり箸ならべの工夫といふわけで、その縁を美
しくゑの具を用ひて書いた紙の上に幼兒がまた箸
をならべる。かうした恩物を取り入れた遊びは昔
の古い方法として省みられぬ今日の日本の幼稚園
の事を思ひ、かうまでたのしそうに落つきを見せ
たフランスの小供の遊びを見て、自分としては深

く考へるところがあり、落つかぬ日本の小供、と
きく幼稚園からの小供は注意力が足りぬとかの
學校のおこぼとのあることをきき、幼稚園教育の
手段としての種々の遊びの上に實際家が理論的研
究は勿論大切であるが、統系を作つたり表を作つ
たりする一方玩具の研究、遊びの種類の研究が必
要ではあるまいかと思はれる。

遊戯を見せて貰ふ。リトミックに就てたづねた
が、とういれて居るといふ。ごく簡單なもの、たゞ
歩き方位であつた。バリの田舎でどるといふダ
ンスを見せて貰ふ。唱歌を二つばかり、幼兒は概
して活氣がない、可なり汚ない着物を着てゐるが
それほどでもない。庭はせまく、ことに全部アス
ファルトである。勿論何一つ運動具がない。巴里の
幼稚園が余りに子供の健康について考へることの
少ないのをかなしく思つた。ずつと以前大阪江戸
堀の膳先生時代の幼稚園を參觀したとき、都會の
子供を自然に親ませやうとしての先生の苦心の澤

山のあらはれを見た事を思ひ起した事であつた。
更に二十區にある新築の公立小學校附屬幼稚園
を見る。二階建の相當廣さのもの、此處には百八十
名の満二歳から六歳までの幼兒を預る廣い遊戯室
食堂湯殿の設備もある。遊戯室の一隅には湯と水
の出る流しがついて居り、湯殿には湯ぶねがあり
子供たちの母親が歸る前或は適當な時に來てお湯
をつかはせる。母親たちは喜んで自分の小供の順
番の來るのをまつていれさせるといふ。大體に於
て前述の幼稚園と同じである。顔色の悪い細い
子供が多い。

巴里で私立の幼稚園を見たいと思つて、學務課
の紹介をえたが夏休み前で幼兒の數は少し御目に
かけることは出來ぬこととほられた。一寸庭先さ
からのぞいただけであるが、余り廣くはないが花
の咲いてゐる庭もありやゝゆとりがあるらしく此
處ならばどうか幸福な子供の遊びが毎日なされ
ることだらうと余りにも氣の毒な先きに見た幼稚
園の小供の上を思つた。

福島縣の幼稚園

氏 原 銀

本縣幼兒教育の實施は、其僻地にも拘はらず、明治十八年十一月早くも、福島市に於て設置せられたり。爾來縣下各市町に漸次開設を見、現今其數三十一に及べり。左に

公立に屬するもの五

福島幼稚園 桑折幼稚園 二本松幼稚園
猪苗代幼稚園 喜多方幼稚園

私立に屬するもの十七

梁川幼稚園 梁川中央幼稚園 郡山幼稚園
三春幼稚園 須賀川幼稚園 白河幼稚園
原町幼稚園 湯本幼稚園 小名濱幼稚園

若松幼稚園(分園二を有す) 會津幼稚園 會津保育園
坂下幼稚園 福島聖愛幼稚園 福島昭和幼稚園
園 若松博愛幼稚園 若松聖愛幼稚園
幼稚園令によらず未だ認可を受けざるもの六

船引兒童訓遊園 小野新町兒童遊園 郡山保育園
育園 若松南町保育園 平町信榮幼稚園 平町清風園保育園保育部

保育所(勞働者の子女を保育する所) 三

愛國婦人會福島支部幼兒保育所
郡山婦人會幼兒保育所 須賀川幼兒保育所
以上幼稚園二十八ヶ所 保育所三ヶ所 計三十一

何しろ本縣に早く保育に着眼者ありし事は、明治十一年、私がお茶の水幼稚園に見習在學の頃、未だ世人の幼稚園の何ものなるを知る者少き時代に於て、福島縣から保育見習志望者の出京ありし事を實に感心せり。此人歸國後開園の模様は如何なりしや、開園したとすれば、明治二十三年の頃ならんも、其時機早くして折角の事業も續くる事の出来ざりしものならんか、何事も、時機を相待たざれば成功覺束なきもので、此實例は昔時私が大阪市に於て遭遇した實驗を左に記します。

大阪府では明治十一年二月大急ぎで、お茶の水幼稚園へ私共を留學させ、翌明治十二年五月、園舎庭園を立派にこしらへて、府立幼稚園を他府縣に率先して開園す。之れ我國第二番目の開園なり（第一番の開園はお茶の水幼稚園）。其後二年間は無事なりしも、府會の協賛を得ず廢園の不幸となりしが、府當局之れを惜み、何か府の豫備金の利

子を流用して維持繼續されたるも終に、明治十六年七月俄然廢園の命に接し大に落膽す。之れ未だ時機早く、此國民基礎教育を解せざる府會議員の多數によるものなり。此廢園に付き其幼兒の他に入園する園なき時代であつたので、其父兄中の特志家七名、山口幸七、丸井佐助、島田覺人、松下淳道、樋口重郎兵衛、猪飼史郎、藤井秀齋の七氏出資して、私立幼稚園として之れを繼續するを得たる歡喜は例ふるに物なく、實に再生の思をなせり。然るに之れが經費は不十分の事とて、此保姆として私共姉妹は身を犠牲にし従事せし處、茲に機運到來す。時に明治十七年、文部省より學齡未滿の入學を禁じ成るべく幼稚園を設くべしとの訓令が出たので、諸所に幼稚園熱起り、大阪市に於ても各區競ふて設置の計畫を進め、此私立幼稚園も公立となつて國運を開くに至る。之れ現今大阪の多數幼稚園の盛況なる基礎となりたるものにて

此私立幼稚園が、明治十二年創立の府立幼稚園の命脈を繼續して其系統を傳へたるものと言ふべし。

さて前記福島縣下三十一の幼稚園並に保育所の保育者諸氏の會員として、毎年縣下各幼稚園所在地に於て交番に年一回、保育大會を開催して保育上の研究をなす。此有益なる保育大會は、明治四十三年郡山市郡山幼稚園主松山政治氏の發起者として、縣下各園と連絡し第一回を郡山幼稚園に於て開催せるに創る。爾來毎年各地に開かれ昨秋伊達郡梁川町の會合に第二十回を重ねるに至りて益々隆盛に至れり。其會員諸氏は其國地方氣質なる堅忍誠實を以て従事せらるる事として、其成績優良に其保育大會に出席するに遠路宿泊がけの厭ひもなく、全員出席せられ其熱心の意氣は、會場に充溢の光景は、實視して感服する所なり。每會知名の教育大家を聘して有益の講演を聽き研究問題を議し研

究の發表をなし、斯道の爲にせられ益々發展を見る事は、其會員の熱誠と其團結力の堅きによるは勿論、又其幹部諸氏の努力によれるものにて、斯の如き保育の研究向上をはかる美舉は、實に東北地方の諸縣中心に見られざる誇りにして斯界の爲め感服慶賀する所なり。彼の我國保育界の第一位優勢なる、關西保育大會に次ぐの美事なり。今學期の更むる時に際し、本縣下熱心なる保育者諸氏の保育せられし幼児の入學する者及新に入園幼児の事を思ひ、茲に拙文を以て縣下保育狀況の概要を記るし併せて保育者諸氏の御健康を祈る。

尙縣下保育者諸氏は、其園所の經營上其他に付て、種々なる御苦心ありし事を推察す、之れ私の昔時三十年間保育者として屢遭遇せし處なり。諸氏は能く之れに打ち克ち奮勵せられし、御功績を感服し敬意を表す。

保育座談會

——遊戯、唱歌について——

五月一日午後二時から。東京女子高等師範學校附屬
幼稚園にて。

出席者 倉橋教授、堀主事、各保母

神原 座談會が、だいぶ長いことお休みになつて居りました。この前、一月の座談會の「遊戯について」はまだ十分に話し盡されてゐないようです。すから、唱歌と合せて「遊戯、唱歌」として、今日の問題にお願ひ致します。

新庄 遊戯についても少しお伺ひしたいと思つてゐましたの。

神原 前回は、「遊戯」の現状を土臺としてのお話のように思へます。今日は「遊戯」「唱歌」の本

質からお伺ひしたいし、リトミックも話題にとつていたゞき度うございます。

宇佐美先生のお話では外國では最近かなり、幼稚園で一般的に扱はれてゐるようですし、先日小林宗作氏のリトミックの研究發表會を拜見しましたも、これは私共として研究しなくつちやと思はれました。

堀 みて、何う感じたか話しなさいよ。

神原 困りましたね。これはよいと思ひますが、説明——よさを言ひ表はせませんけど。

倉橋 従來の子供の音楽は歌詞が主だ。歌に譜がついてるやうなものだ。リトミックでは、リズム

を主體として、しかも、それが全身的に經驗せられて來るところを主旨としてゐる。従つて、時には音樂教育以上人間教育上の効果を説いたりする人さへある。

神原 その發表會で見ますと、理窟でなしに子供はリズムを體に感じて反應して居りますの。

倉橋 我々のはリズムよりも歌詞を主にしてゐる。體へ感じるものでしよう。例へば、ベートベンがつんぽになつてからもいゝ作品が出來た。あゝいふ天才になると、我々とは違つた經驗のし方を音に對してしてゐるのでしよう。しかし、音が耳だけでなく、體全體、細胞から動いて來るといふことは凡人にもある筈だ。幼兒には尙更そうだらう。大人は觀念化されて駄目なるが、小さい時から修練を與へればそれが發達するに相違ない。だから、リトミックは音樂教育のためには有力なものです。但し、幼稚園ではどれ

丈の地位を占めるかは問題になる。リトミックの價値とリトミックの幼兒教育上の價値とは別の問題ですね。それを人間教育の根本とする論は、内容としてよりも、論の立て方として、どうかぬ。

神原 そんな論者がありますか。

倉橋 ありますよ。

リトミック専門家の方では、その根本理論はよく研究されて居よう。吾々はその方の素人だから。その根本を論ずるよりは、これを幼稚園教育に對しての問題として、考へるがいゝ。ところで、一體感受性の餘んまりセンシブルな教育をする事が、幼兒教育としていゝかどうか。これは問題になりますね。幼兒教育はセンシブルの反對、變的といつては荒つぽ過ぎるようだが、そんな處のあるべきものではないかしら。感覺といふさへ吾々は細かいと思ふ。知覺で止

めておきたい位だ。そこへゆくとリトミックの方は大分細い音楽性の訓練として有力なだけ、その點はどうか知ら。

神原 子供にしてゐるものは、そんな繊細なものぢやなさうです。

倉橋 實際はそうなるでしょうね。——だが何しろ見渡した處、リトミックを知らない、論ずる資格のない者ばかりが話してゐるのだから、之れは一つ誰か充分やつてみたらいいでしょう。

神原 今、この問題を出すのは早すぎますね、これでさう上げて下さい。

堀 さりあげないでやつ見るんだ。貴女が出来なけりや程度が高いんだらう。

神原 私、やつて見ますわ。此の間からそう思つてゐました。音楽に耳がないといふ日本人だから音楽性を發達させるといふ意味で積極的にやつていゝかと考へますが。

倉橋 それは大いにいい。音楽そのものとしてはね

我々は音といへば、音の物理學と生理的プロセスと、表象されたものときり知らない。音の一番肝心の所は多分知らないのだ。丁度我々が葡萄酒の味を知つてゐても、味といふものそれ自身を知らないのと同じだ。音となると尙更はげしい。だからリトミックをやつたにしても幼児教育を損ふ迄の程度なんかにゆきつこないから大丈夫でしょう。

堀 僕は音に對してセンシブルになることは必要だと思ふ。僕のように耳がだめだと、聞いて覺えることが出来ぬ。耳のよい者は語學は樂だ。

耳は幼少から訓練する必要がある。

倉橋 それはそうだが、程度の問題でね、餘り繊細すぎる感受性の教育は幼時期にはいらぬと思ふ

○

神原 リトミックはそれで切りあげて、今度は保育

論のABCを伺はせて下さい。唱歌について。

倉橋 つまり、幼稚園の唱歌は、音響藝術として聴かせるのが主か、又は、子供の音的表現活動を主にするのか。そこが問題なんでしょう。私は何れを主にするかといへば後の方だと思ふ。多少調子外れでも平気で歌つてゐるならばそれでもいい。ヘンな踊り方をしてゐても、それで満足な子は幸福だね。自分ぢやうまく踊つてると思ふところが、子どもの偉大さ。廿歳以上になつて餘りに偉大では馬鹿だがね。幼児の場合では自分の表現満足の方を主としなければならぬでしよう。

堀 表現満足が主だが、誤つた表現をしてゐる時は、正しい方に導いてやると。

神原 その表現のお手傳はむつかしい。そんな方法でやつてゐられる方がありますか。

堀 子供の童謡に、子供の調子で節をつけて、子

供の踊りをさせればいい。幼稚園でその機會をつかむことはやり得る。

倉橋 先生が、音楽として正しく忠實に歌を歌ふ。それを聞いてゐる子供は何う感じてゐるかといふに、大ざつばな體驗で大ざつばにきいてゐる大ざつばなさゝ方だから表現も大ざつばになるつまり表現様式の程度に對しては、この「大ざつば」は循環する。だといつて、いゝ加減に歌つて聞かせてはますます大ざつばになる。子供は能力ある發達した人のような繊細な聞き方をしないが、或る感じは受けてゐるのだらうからね。つまり先生が歌つてやるのは、幼児の氣持が、先生のお蔭で表現出來るといふところにある。耳を聞いてやるのも結構だけれど、根底は、子供にある物を出してやる、搔ゆい所を搔いて満足させてやる、まあこれが幼児教育での主體でせう。一寸話が違ふが、社會事業に童

神原 ……………?

倉橋 藝術そのものとしてそこまで行つたのをやる

に越したことはない。そういふ天才が居てこさへてくれると一番いいが。兎に角、幼稚園の唱歌の第一義はさういふ所にある。音の世界を扱つてゐるから音楽の問題と交つて来るが、音楽が下手なら他のものでやればいい。吃りの子供に對して、ベラ／＼しやべる時、その吃りの子供は何う思ふかと考へる。先生の流調を辯で胸のつかへの降りる感じのすると共に、山中の岩川が利根川に來たような違つた世界を感じやないかしら。極論すれば、幼稚園の唱歌は純藝術の意味での音楽教育にあらずか。

堀 教へる事に捕はれてゐるんだよ。幼稚園とい

ふものは教へることは考へてゐない。教へる方は樂ですよ。こさへてある物を取次するだけだもの。子供の持つてゐる物を引き出して發達さ

話聯盟といふのがある。その聯盟の人がいふのに、託兒所で用ふる童話に困つてゐるつて。今迄の童話ではあの境遇の子供にそぐはない。宮殿や、お姫様など貴族的な話許りでは、どうも幼兒の持つてゐる氣持とあはない。まるで違つた世界やその心もちで出來た話はリアリスティックな感じが起らない。どうしても、子供の氣持を眞に代表する話でなくつちやといふことを言つてゐる。音楽についても同じことがいへる。即ち、唱歌では先づ子供の氣持をうたつてやりたい。これが中心の本務だと思ふ。勿論これは歌詞ばかりぢやない。

神原 子供の氣持を歌つてやる！歌はせてやる！その道の藝術家でなくつちや出來ませんわ。

倉橋 「花をばとりてお土産にませう」とやつてゐるぢやありませんか。

せて行かふといふのはむづかしい。

神原 私共と見解を異にしてゐる人は分量からいつて随分多いようですが、一體我國の現在で、何んな潮流がございますの。私は此國で育つただけで存じませんが。

堀 豫定したものを教へるのと、このような生活主義と、その他は微々たるもの。幼稚園關係者は型に捕はれてラクに行かうとする。

神原 その生活主義でやつてゐましてね、一方その生活が健康に行つてゐるかどうか、一定の標準に照して生活診斷を絶えずしてゐなけりや私の様な心配性はこゝろもとない。

倉橋 生活主義は洗ひさらつてみると、あ、こが、れ、て、すね。或は子供をみてゐての驚きです。しかし、生活主義で何をしてゐるかとなると、別室に退いて考へてみなくちやいけない。これに共鳴してゐる人は、あこがれが強いのみならず、今までのが生活を高調させてないことに對して反

動的にも同意して來る。そんなところがありません。生活主義は保育に限らず現代思想の一般さ。

神原 それはよく分りますの、生活主義でなくちやと思ひますの。現代人だから（一同笑ふ。若き連中同感）

倉橋 いくら生活のひらめきだからと言つても、生命を抜かずに、しかもくつきりさせることは我々に必要です。殊に生活で教育して行かうとするには。生活の本質ばかりでなく、内容を分析してみて、部分活動と全生活活動との交渉關係を研究することが大切ですね。その點を充分秩序的に考へないと、生活主義は一種の現代的反動論に終る危険があります。僕なども或は反動論者かも知れないね。

神原 反動論でなしに、第三者としてのを伺ひたい。
堀 世間ぢや、結局つかれたらけで、さて何う

していいのか分らないつて。

倉橋 言葉に過ぎないけれども、今迄やつてゐることでも、それを生きた生活の中においてみると違つて来るんだがね。

堀 さうとも。

倉橋 部分活動を部分活動としてやるのはやさしいがそれはそれだけのことだ。尤も一種の生活主義病者、生活々々といつて何にもしないのである、これは病態だね。生活は何か一つの時一つのことをしてゐるのだからね。

新庄 遊戯します時にね、右手あげて、左手を斯うしてと先生の真似をさせるあの方法、あれは何んなものでせう。幼稚園では他の場合ではあんな模倣の方法は致しませんのに。

神原 こんな話を聞いて考へさせられたのですが、「自由に畫を描かせるように、何故遊戯に於いても自由に踊らせるようにしないのか。」と

遊戯の型を既に知つてゐるので自由勝手に出来ないのかも考へますが、遊戯ではこの自由にするといふことが出来にくいようですが。

倉橋 それは面白い疑問だ。現代人は觀念化してゐるので、畫のような物には自在の表現が出来るので、遊戯などではそれが出来なくなつてるといふようなことも一つの難點ぢやありませんか原始人、野蠻人は描く事よりも、踊つたと書いてありますかね。但し之れが其疑問に對する答へのすべてとは勿論ありませんよ。

新庄 それにしても、あのやり方では如何かと……倉橋 ほんとにそうです。今言つたようなこと以上になつてゐるかも知れません。畫のような描寫藝術、材料を使つてゆく生活と我身をつかつてゐるものとは六つかしさが違ふのですね。

堀 指導の問題だ。指導の實際を見ようぢやないか。もうこの邊で切りあげよう。

會津行ききの歸途郡山市の子守學校 と幼稚園を觀て

氏 原 銀

若松市會津は、實父生誕の地で、實父在世中には會津地方の事情に付き、種々な實話に、會津城の立派な事、其藩士氣の忠烈な事、藩校日新館の完備せる事、藩公御廟の立派な事、精巧漆器陶器の産出の事、身知らずと言ふ柿の美事な事（之れは柿の實の技に満ちて撓はみ折れんとする様に實れるもの）其山國なので生海魚なく、鹽魚干物鮭鱈數の子類を常食とし、其鹽魚も比較的古く日の立つた物を味ふ事とて、或時江戸から鮭のト鹽物の味よき品を送られたるに、舌をささぬと言つて賞味しなかつた笑話を聽かされた事ありしによ

り、該地は戊辰後の國難で、昔時の状態とは變つて居る事なれど、實父故郷の俤を偲ぶべく、一度行き見んと思ひつつも、其機を得ず。折柄若松市に福島縣保育大會が開催せられるに際し、參列かたがた行く事が出来、同市若松幼稚園長中村謙吾氏の御案内を辱ふし、會津の状況を見物する事を得て、多年の宿望を果した事を感謝す。

若松市は戊辰の困難の爲め一時悲惨の状態なりしも今日にては大に回復、汽車の便により 通其他の利益は昔時の比に非ず。鮮魚は汽車便により新潟地方より輸入せられて、立派な料理の食膳に

供せられ、昔時の鹽干物時代は全然驅逐せられたり、土地平坦にして、市内人家の前なる小溝には清流貫通して、實に清潔の市街なり。

福島縣保育大會は公會堂にて開催せられて、縣下の各幼稚園の會員は、宿泊がけて出席、其熱心の意氣は、會場を旺溢し、都會に於ける會合に優れる盛況なりし。日本三名城の一として名高かつた若松城（一名鶴ヶ城）戊辰後の砲煙彈雨に浴して慘ましき廢城の姿となりながら、尙倂を存して居つたが、明治七年官命で取崩されたので、現今は只殘壘だけで、其状態は實に悲惨に堪えず、其本丸二の丸三の丸北西出丸等の趾の、廣大な輪廓を見、其石垣の堅牢、其堀の深く紺碧の水面、其老松樹の古色等の状態により、其昔時の名城たるの倂を偲ぶ十分の感あり。殊に其天主閣趾に立ちては、此閣上に、宗家徳川家より拜領の金屏風數双、其他金銀製什寶の藏せられ、毎秋蟲干の際は實に

其結構を拜觀せるものなりと聽きしを思ひて、之れが悉皆兵火の爲めに灰燼となりし事、戰禍の慘酷なる懷舊の涙を催ふせり。

日新館は藩校で臣下子弟の入學する處、昔時は規模廣く校則完備、射御書數柔劍鐵砲等の諸術、彈藥製造、水泳術、表具術、謠曲、國文等の學科を以て、子弟を教育する所、以上諸學科に關する著述の刊行あり、中に就き、日新館童子訓と言ふ書物は、父の特に取寄せて、私の幼時に習讀せられたり、斯の如き周到なる設備の藩校も今日にては殆んど、其跡型なく、唯其一部の地に、私立學校の建てられたるあり。昔時此校より、有爲の士を出し又我父も、此處に學びたりし事を思ひ其變遷の狀を偲び、感慨無量なりし。

松平家御廟は、若松市の東二十五丁の院内村の山上にあり、坂を上る事數丁にして、高さ六尺餘巾三尺四方の柱石の、石造龜の臺石の上に建てら

れ、上部は石の屋根ある、立派な碑で、數百年を
經る今日、其碑面は苔も附着せず、碑面の彫刻文
の明瞭なる、其屋根あるによるものならんも、實
に年代を經しものとは見られざる碑の數基の瓦一
間半以上間隔を置きて建てられ、神氣に充ちた幽
邃の山上に、崇巖の念を以て拜せられたり。昔時
は此碑に覆をさせ、毎年の花時之れを取りはづし
て、御花祭りと稱して盛大なる祭典執行せられた
りと。

飯盛山は市の東北十五丁の處にあり。戊辰の役
藩校日新館の十六七歳の生徒三十六人集團して、
白虎隊と稱し西軍と戦ひ、衆寡敵せず終に十九人
となり、飯盛山に逃れ、山上より城に兵火の上る
を見、今は之れ迄なりと。城を拜して自刃せる所
其墳墓木像を拜し當時凄慘の狀態を感涙流れて之
れを偲べり。

有名な東山温泉は、市の東一里の所にあり、幽

邃閑佳の仙境にして、湯川の溪流瀨をなし淵をな
して瀑布となつて、温泉場を貫流し、兩岸温泉宿
の高樓立ち並びたる立派な場所で、之れには豫想
外の感あり。此一流宿新瀧に一泊入浴の優待を得
た事を感謝す。

若松市の古來遠近に知られたる會津塗は、近來
益々其漆器の精巧を産出し其他會津酒、會津木綿、
ロースクの産出あり。益々商工業の盛況を呈せり
以上會津地方の狀況に付て永々と述べ、本題の
記事が後になつて相濟まざるも、此會津地方の事
柄を、御存じなき方々の爲めに、御參考の一部と
もならんと老婆心より記るしたる次第。惡しから
ず御諒承を願ふ。

歸途郡山驛に下車、此時郡山幼稚園主事松山政
治氏一昨日來縣保育大會の爲め、御疲勞あるにも
拘はらず態々驛に御迎へ下され、直ちに自動車で
稻荷なる子守學校並に幼稚園に伴はれ兩所を參觀

して、其設備及其内容の整頓を觀て松山氏の熱誠努力の結果と感謝す。本園は最初同市燧田にありし子守學校生徒の幼兒を同伴する者増加し其教場に支障を與ふるに至り其主任訓導松山氏は「之れ保育機關を促すものなり」と悟られ、其小學校長菅井氏と相謀り設立したるに創る。時恰も明治四十一年九月八日、東宮殿下本縣に入らせ給ふに當り、特に開園して、永く記念とせられたるものなり。爾來菅井園長より今泉慶徳兩氏の三園長を経て大森吉彌氏園長として現在に至る。

創立以來子守學校生徒に伴はるる幼兒以外の、入園兒増加し、又一方子守學校の新築を要するに至り、大正二年十一月之れと連絡接續（子守學校と幼稚園）した設備に成れる、校園舎を同市稻荷現在の處に（五百十九坪）町費三千五百圓を以て新築し、之れに移り、尙此地所並に建物其儘町より貸與せられる上に、年々百五十圓の補助を受く（松

山氏住宅も此中にあり。）

斯の如き町よりの恩恵に浴せらるる事は松山氏の多年其職務に熱誠努力せらるる結果にして又氏の人格徳望高きに基因するものなり、其園の保母長としてはイネ子夫人あり。夫人は淑徳高く温情深く、部下保母を能く指導し幼兒一同に對して慈母の如く、其内助の力に大なるものあり、斯の夫人の力と相待て、幼稚園事業は益々發展して好成績を表はし、近時入園兒増加し幼稚園令による收容幼兒の制限により、分園の計畫ありと聞く。

イネ子夫人の保育の修學に付て實に感心する事あり。之れは、當時五人の御子持の身を以て、單身で東京保母傳習所に入學せられ、其御留守中は母堂の其令孫達五人の世話並に家事一切を引受けられたるを以て、毫も内顧の心配なく無事卒業せられたる事にて、母堂の助力の大なるものは、夫人の奮發心と共に感ずべき次第なり。之れ皆國の

爲にせんとする松山氏の御考より出てたるものにて此三君（母堂松山氏夫妻）相待つての御心がけの次第は感歎の至りなり。其後夫人は文部省の講習にも度々出席せられ、時代思潮に伴ふ斯道の研鑽に努められ、其際は御子達も十人になつたのも最初の御子丈け子守を伴ふて出京せられ、其熱心な勉強の程を感服す、又縣保育大會出席の時も、婢をつれて乳兒を伴はれし事は、若松市に大會開催の節見受けたり。以上の如く研究の其保育事業上に及ぼす良成績は故なきに非るなり。

次に子守學校の事に付て述べれば、本校創立は明治三十三年五月、郡山市第一小學校の教室に開設、後第二小學校燧田に移り、大正二年十一月現在幼稚園共用地なる、町費新築の場所に移り、町會の決議にて全部を松山氏に委ね、同氏私立に經營せらる。松山氏は創立以來今日此子守教育に熱心從事せらるる主任訓導なり。毎年市及縣廳より

の補助金と、有志又は雇主の寄附を以て維持し昭和元年より毎年宮内省内務省よりの御下賜金あり其生徒は九歳以上で、義務教育を受くる能はざる者に、普通教育並に幼児保育の心得を授く。奉公人最も多く、工女自宅人之れに次ぐ。兩親なき者母なき者、父なき者、親の不具なる者等で、生徒の多くは親縁薄く、不幸薄運誠に同情に堪えざる者あり。授業料は徴收せず、學用品一切を貸與す授業時間は平均四時間半、午前午後に分ち、三日目に交替せしめ、教員二名保母一名で二部教授とす。其教授の方針は、子守第一、學問第二を標榜し育兒の方法を授く、又嬰兒の泣き方を研究せしめ、又其すかし方を印刷にして各兒に與ふ。其子守生徒教室の状態は、皆嬰兒を負ひて、着席授業を受く、其狀況は珍らしく見らると共に、涙ぐましき感あり、其負はれる兒は泣く事割合に少く靜肅に教授を受く、生徒の成績は十歳以上なるによ

り、向上心強く、相當に良成績をあぐ、時に雇主の諒解を得て、平素勤勞に對する慰安と、智見開發の爲め遠足會を行ふ(から身で)斯の如く教育を受くる子守に負はるる嬰兒も幸福に過ぐず事を得實に子守の徒らに戶外雜沓の場所又は不淨の地に逍遙して、惡癖不良性に感染し、生涯無學の徒に終らんとする、不幸の小女を此設備によつて救助する博愛的慈善的なる此教育事業に多年熱心に盡瘁せらるる松山氏の郡山市に對する功績は、其保育事業に對すると共に、讚美感激して措く能はざる次第なり。又氏は毎回盛況を重ねる福島縣保育大會の發起者として、明治四十三年十月八日、郡山幼稚園に於て第一回を創始し、斯道研究の發展に資し、其理事として現職にあり。以上幼稚園と

子守學校に従事せらるるの外、郡山婦人會並に、同附屬保育所に、同市男女青年團に、全國修養團等の社會事業に役員として熱心に盡瘁せらる。修

養團事業に付ては東西遠方の地に講演に出張せられ此の如き社會事業は何れも皆良成績を擧げて着々成功を見る。實に氏は教育家とし社會事業家としての、大活動家なり。之れによりて、大正九年縣知事より教育功勞者として表彰せられ、又昭和四年社會事業功勞者として表彰せらる。其他郡山市及郡より度々表彰を受けられたり。以上松山氏の功績に對して拙筆のよく十分の記述を爲すを得ず茲に敬意を表し拙文を記す。

左の表は子守學校校長松山氏の研究せられたる、泣く子のすかし方の心得として、其生徒に與へられあるもので一般育児の參考として有益なるものあり。此多種の研究ありし松山氏の勞を感謝す。

x x x

赤坊を泣かさずに育てる法(生後一ケ年まで)

◎赤坊の泣くのは必要があつて泣くのです。(言語の代りに泣いて知らせます)泣く必要のないだけに氣をつけておやりなさい。それには先づ第一に、

一、乳のこと

○乳は規律正しく(一日に二時間から四時間おきに、一回は十分から十五分間一日に八回から五回まで、年令に應じて)
○夜中に乳をやらぬこと(悪い癖を絶對につけぬこと、生後十日位までが大切一時にとつしり乳をのませ、チヨイ／＼は大禁物)

二、浴みのこと

○毎日の手数を厭ふな(午前中に一度は浴させること)
○湯の加減 ○ガーゼ ○石鹼 ○硼酸水 ○口と目と耳と
○下着は浴みの度にとりかへて、いつもサツパリとした軽いもの

三、おしめのこと

○おしめは度々とりかへて汚させぬこと
○三角おしめを用ひ、綿布圍をやめ、洗濯に便にすること

四、寝せておく

○赤坊の本来はいぢり廻はされるのが大迷惑
○はたから騒々しくあやしたり、抱いたりせぬこと
○刺戟が多いと神経過敏又は衰弱してイラ／＼します
○常に柔かく静かに寝せておく癖をつけるのが大切

◎赤坊はお腹が足りて睡りが足りると、いつもニコ／＼して居ます。

▼子供には氣をつけよ 手をつけるな▲

は の く 泣 の 坊 赤

泣く赤坊のすかし方(言語の代りに泣く時代)

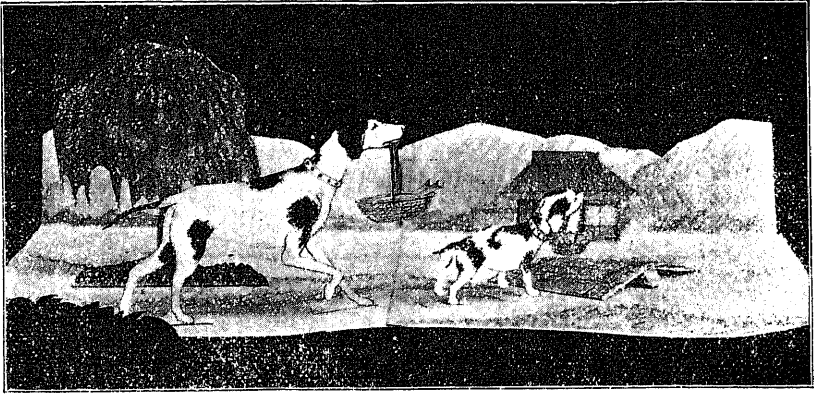
原因

有様(聲と様子と前後と)

すかし方(原因に應じて)

- | | | | | |
|--|---|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <p>(5) 物事に驚いた時
(驚怖)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 涙があいてゐて涙が殆どない ○ 唇に物がふれるとヒクヒクとうごく ○ 聲に節ありあはれ相に長く引く ○ 初めはあまり激烈でない ○ 前と同じく涙がない ○ 眼を細め、うるみをもつてゐる ○ 欠伸を交へて泣く ○ 身體にだるみがあつて重く感ず ○ 眼があいてゐて涙は後からでる ○ 頭を振り、兩足を踏張る ○ 意けた様にしまりなく訴へる様な節で焦れたく泣く ○ 眠つて許りゐる小さい頃には殆どない ○ 眼をあいてゐる涙が多い ○ 泣き聲に力をこめてゐる ○ 激烈に「ギイ〜」と鋭く高い聲 ○ 兩足をちぢめる氣味がある ○ 額にしわが出来る ○ 突然に泣き出す ○ 泣き聲が高い ○ 身ぶるいをしたり首を縮める | <p>(4) 痛い所のある時
(苦痛)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 早く乳を與へよ ○ 甘味のあるものを一寸與へよ ○ 一時凌ぎには白湯を與へてまぎらはせよ ○ 靜かに眠らせよ ○ 調子をつけてお尻を叩け ○ おぶひ直して見よ ○ 頭を軽く髪の毛の生え並みに撫でよ ○ 同情してなだめよ ○ 背から下ろして抱き歩け ○ 玩具か又は食物を與へよ ○ 場所をかへ日光をかへよ ○ 身體と衣服とを調べよ ○ 負ひ直して工合を見よ、撫でよみよ ○ 腹部を所々押へて見よ、撫でよみよ ○ 何ものみ食ひさせてはならぬ ○ 背より下せ ○ 顔をかくし抱きしめてやれ ○ 同情して力をそへよ ○ 居場所をかへよ | <p>(3) 思ふ様にならぬ時又は退屈の時
(不快)</p> | <p>(2) 眠くなつた時
(催眠)</p> | <p>(1) 腹のへつた時
(空腹)</p> |
|--|---|------------------------------------|----------------------------|----------------------------|

昭和三年五月十日赤ちやん大會審査發表に際し郡山子守學校稿



切り紙 (猫のお見舞)

及川ふみ

「幼児の楽しむお話」の中の猫のお見舞のお話はいつも新入幼児にきかせてよろこばれて居る。新入幼児でなくてもほんとに可愛らしい面白いお話で私自身も大好きなお話である。

× × ×

「猫の王子さんは可愛らしいお嬢さんです。眼がくるくるとして真白な毛です。お友達も澤山あります。大きな犬さんも小さな犬さんもお庭の木にくさりでつないであるお猿さんもみんな仲のいいお友達です。その中どうしたのか王子さんが御病氣になつてしまひました。遊ぶこともいやだし御馳走も食べられないうし、小さな箱の中で赤いふとんをしいてねて居ました。日頃仲のいい大きな犬と小さな犬とが相談してお見舞にゆくことになりました。

「玉子さんが居ないで寂しい事ね、何をお見舞に上げませうか」

「玉子さんは、かつをぶしがお好きだったのね時々あれをかぢつたり、しゃぶつたりして居たぢやありませんか」

「でもね今度の御病氣は何でも鯉節をかぢり過ぎたとかいふことなの。何しろ堅いから食べ過ぎでお腹をわるくしたものでせうよ」

「さうそれぢや困るのね大根も食べないしきやべつも厭ひの様だし、やつぱりお魚がいい様ね柔かくておいしいお魚にませう」

「それがいい。それがいい。どれ／＼買つて來ませうか」

大きい犬は大きな籠に大きなお魚を一尾かつて入れました。

小さい犬は小さいお魚を一尾買つて入れました。

二人はそれを提げてお家を出ました。

道に水たまりがありました。

大きい犬は大きな音でジャブ／＼／＼／＼／＼／＼
小さい犬は小さな音でジャブ／＼／＼／＼／＼
と歩きました。

橋がありました。大きな犬は大きな音でトン

／＼／＼
小さな犬は小さな音でトン／＼／＼

向ふから外の、犬がきました。大きな犬は大きな聲でワン／＼／＼ 小さい犬は小さい聲でワン／＼／＼

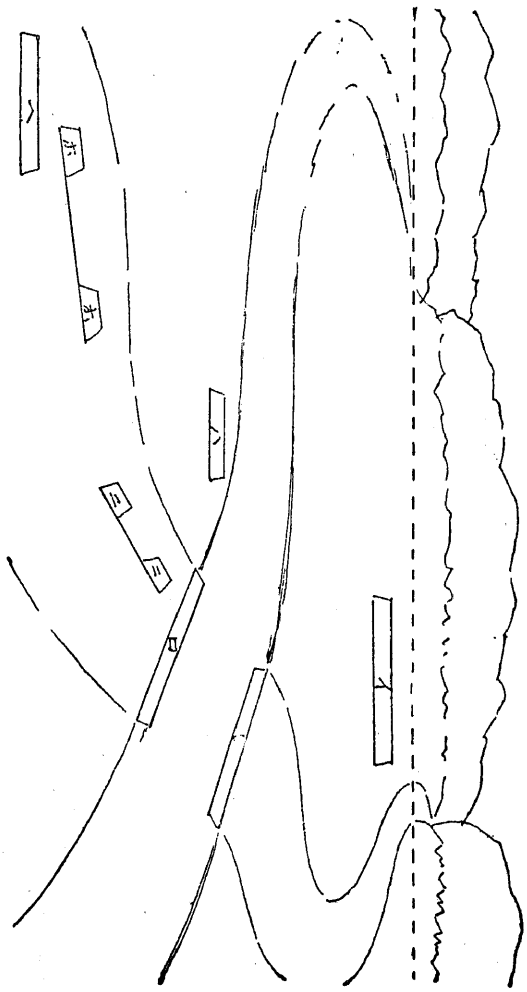
とおぢぎをしました。

玉子さんのお家につきました。大きな犬は大きく、ガラ／＼／＼、小さな犬は小さく

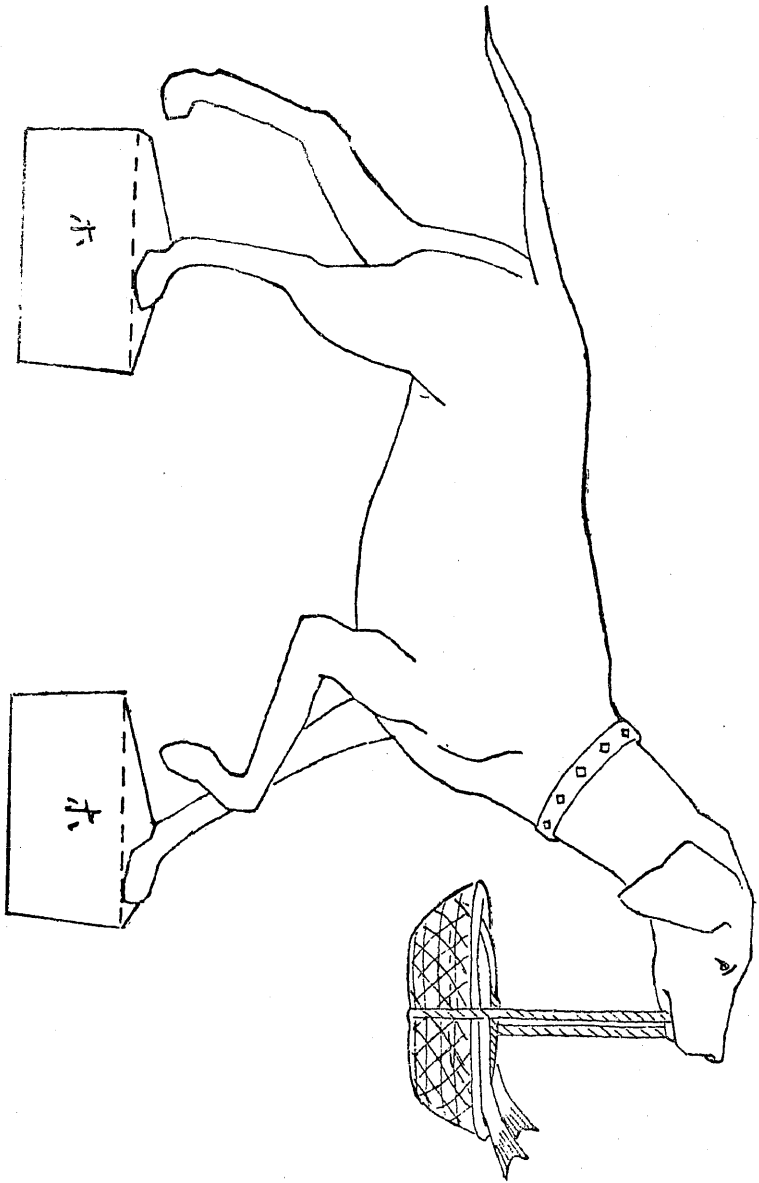
ガラ／＼／＼

と格子をあけました。

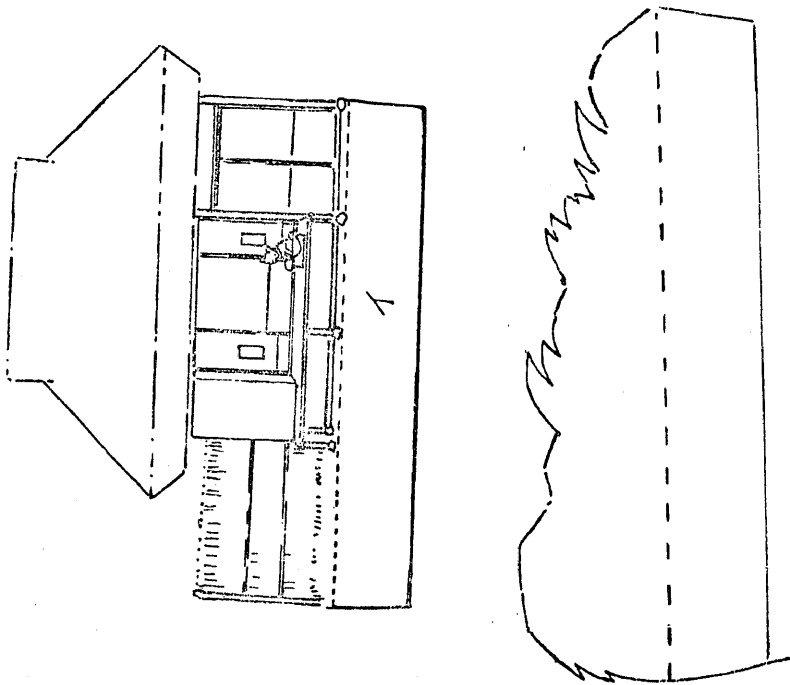
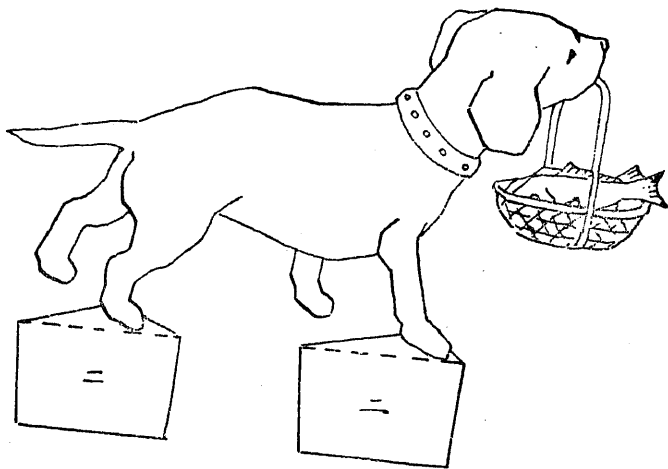
大きい犬は大きい聲で



第一圖

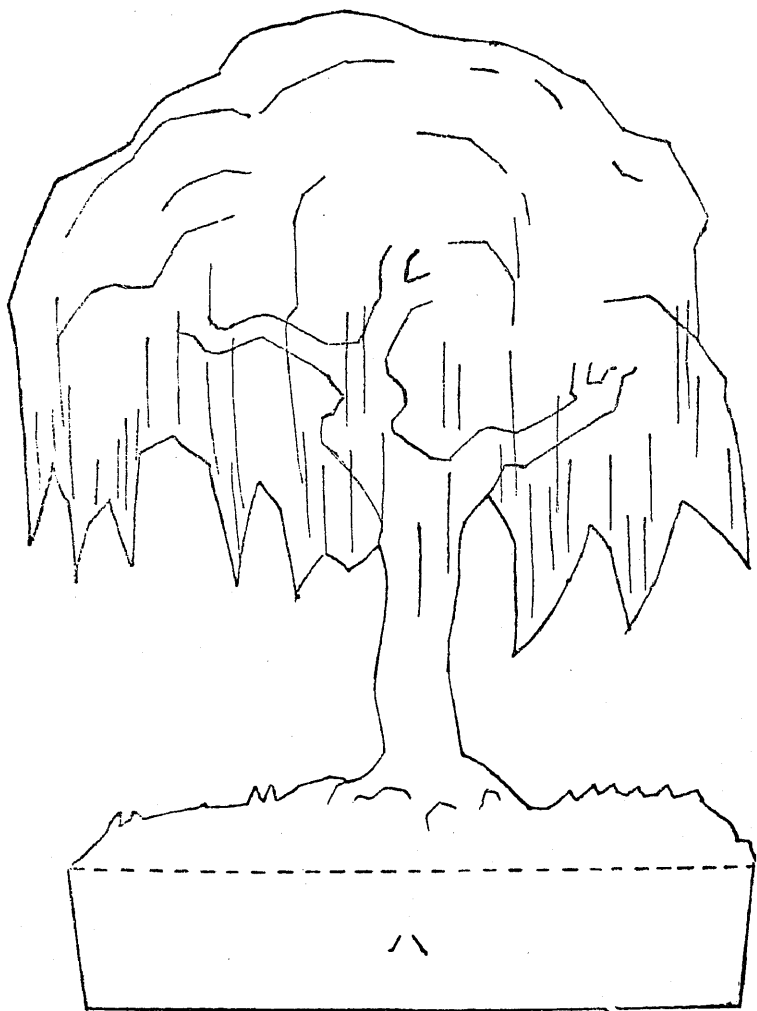


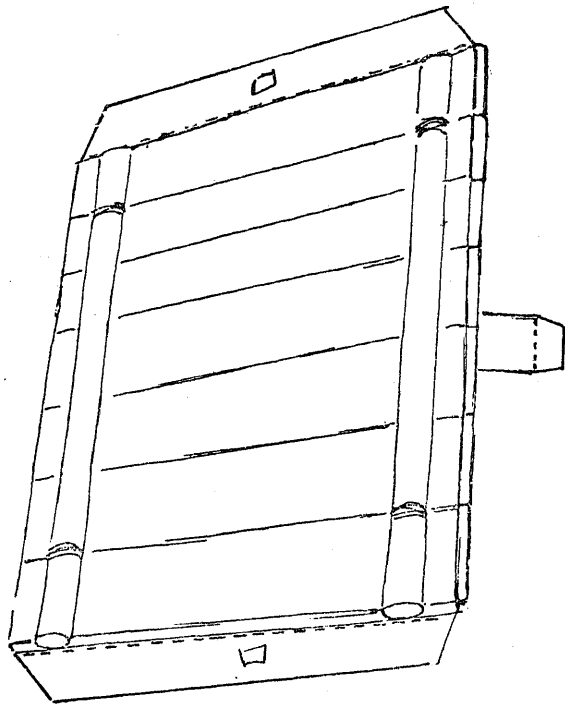
七四



七五

第三圖





第五圖

「猫の玉子さん御病氣はいかゞ、遊べないでつ
まりませんね、これをお見舞に上げませう召し
上つて下さいねお大事に早くなほつて又御一緒
に遊びませうね」

小さい犬は小さい聲でやつぱりそう申
しました。

玉子さんはほんとうに嬉しうございま
した。さびしかつたところですよ。そ
れからおいしいお魚もうれしかつたので
す。

「ありがたう、ありがたう早くなほつて
又遊んで頂戴ね。お猿さんにも何卒よろ
しく」

大きな犬は大きな聲で

「ではさよならガラ〜〜」

小さい犬は小さい聲で

「ではお大事にさようならガラ〜〜」

又歸りにはトンくくく　　ヂャブくくくと
橋を渡つたり水溜りを歩いたりしてお家へかへ
りました。

× × ×

この話中の橋を渡つて二匹の犬が見舞にゆくとこ
ろです。

第一圖 背景台紙

これを畫用紙四ツ切大に畫く、遠景の森、川、
道田圃をクレヨン或は色鉛筆でぬる。

イ 玉の家

ロ 橋

ハ 柳

ニ 小さい犬

ホ 大きな犬

ヘ 草

右の場所へ次の第二第三第四第五第六圖の大小の
犬その他をクレヨン或は色鉛筆でぬつて切りぬき

たるものをはりつける。

これは年長幼児の材料としてこしらへて見たの
であるが割合にきりぬく場面もぬる場面も多いの
で數回にわたつて連續した作業として取扱ひたい
のであります。背景はこの種の作業になれて居る
幼児には定めた背景を與へずに幼児自身に畫かし
た方がよいのでありませう。

× × ×

× × ×

本月の草花

大 岩 金

球根草花に續いて本月は昨秋に下種致しました二年性花卉及び宿根草類の最も美しく開花してゐる時期であります。以下にあまり手のかからない比較的丈夫な花のみを植え込みました花園に開花して居ります二年性花卉に就て簡単に申し上げます。

(一) きんせんくわ

上品な花とは申されませんが相當に廣い場所に植え込んでありますと花數が多く色がはなやかで明るい感じがしまして草姿もさほど亂れませんか一寸人目を引きます。それに子供などは是が満面に赤くなつて居ります所などを見ますとそれは

く喜ぶやうであります。そして開花期間の長い事と申しましたら早くも三月中旬頃から咲き初めまして五月中旬位は觀賞出来るのであります。さてその栽培法としましては普通には秋播に致しまして春に開花させて居りますが又春播にして秋に觀賞する事も出来るのであります。種子は開花期間の長い丈に早いものから順次結實致しまして五月上旬頃から引き續き開花してゐる中に交つてくるのであります。そして一本の花軸に出來た種子丈でもかなり多數にあるのでありますから豫め大輪のものとか色のよいものとかよく八重になつたものなど種子用に望むもの丈に記をつけておきまし

て他は花の終るにつれて結實させないやうに切り取るやうにする方がよろしいのであります。即ち結實によつて勢力を減じますから。又開花してゐる中に結實したものが交ります時は外觀もそこなはれるのであります。しかし觀察の方面からの必要がありますやうな場合は特別であります。

さて採種すべき果實の熟したか否かは第一色によつてよくわかります。即ち成熟しましたものは果皮が黒褐色に變ずるのであります。そして果實に手指を觸れます時は容易に離れて落ちるのであります。それ故この期を失しますと自然と地に落ちて採種出来なくなります。のみならずこの種子は誠に發芽し易いものでありまして地に落ちましたものがその場で直ちに澤山生えるのであります。それ故秋播に致しますには採種致しましたならば蔭干と致しましてよく乾かして保存しておくやうに致します。播き方は種子も相當に大きい方に屬

し發芽もし易いのでありますから一般の播種法に準じ露地で苗床を造りましても箱蒔きにしましても播種鉢を用ひましてもよろしく用土も極普通のものでよいのであります。子苗を生じまして定植後に二三回移植致します事及び時に油粕の腐汁の如き液肥を施します事なども皆普通の二年性草類と同様であります。

(一)三色堇

草丈低く株張りのよろしいために多く縁取りにして居ります。名の示す如く黄、紫、白の三色からなつて居りますがその三色の中にも濃淡あり、ほとんど黄のみからなるもの、紫勝ちのもの等種々ありまして色彩の上から申しましてもなか／＼變つて居ります。又の名を遊蝶花とも申して居ります。が花瓣の形から名づけたものでありませう。かく花形も面白く色彩も美しく且つ丈夫で移植にも堪へ草丈も低い點などから鉢植としても充分觀

賞出来るものであります。

採種に就ては三色堇の果實は是が成熟前にはその花軸の先端即ち果實をつけた部分が下向になつて居るものであります。漸次熟するにつれて上向となり完熟致しました時にはすつかり首をもちあげて居ります。しかし尙果皮は緑色を呈して居るのであります。指先で果實をさへます時は果皮は縦に三裂して中から褐色の種子が無數にこぼれ落ちるのであります。この時は既に採種に適當な時期でありまして上旬になりましても尙果皮の黄變するのを待つて居りますとやがて指頭で觸れなくとも果皮は三裂して中の種子は全部飛散してしまふのであります。この點に注意して適當な時期に適當量の種子を收穫し余は前同様花の終り次第早く摘去するのであります。一般には始めのうちに結實しましたものの方が良種子のやうであります。

收穫致しました果實を蔭干に致しますには必ず袋に入れて口を閉じておくなり、他の器に入れました時には紙類で蓋をするなりしておかなければなりません。注意して聞いておきますればパチ／＼と何の音かと思はれるばかりにかなり大きな音を出して果皮がさけ同時に中なる種子は周圍に勢よく飛びちつてゐるのであります。かく致しましては折角採り集めました種子がみんなちり／＼になつてしまひます。

次に播種の時期は一般には秋播にしまして四月の頃から開花し始めるのであります。が七、八月の頃に播種しまして冬になり木框中に取り入れます時は一月から開花が見られます。又七、八月頃芽先を摘んで砂挿とし夏の炎天には葭簀の如きで日除をしてやりますれば更に播種によりましたものより早く九、十月頃に開花させる事も出来ます。尙栽培法として注意すべき點は根が小さく細いも

のでありますから荒い土よりも小さく砕いたもので基肥としても堆肥の如きを用ひますよりも油粕又は腐葉土を小さく砕いたものの方がよいのであります。

(三) アラセイトウ

葉に小さい毛がありますので光つてみえます。花色には赤、白、紫、などがあります。一般には一重であります。秋に下種致しましたものも寒さに比較的丈夫であります。栽培法も簡單であります。只根が直根をもつて居りますので移植はしない方がよいのであります。それ故直播に致しますか極小さい時に小鉢に一本づつ移植しておきまして順次成長するに従つて大きな鉢にゆるめてゆくのも一方法であります。

果實は二三寸の細長いものであります。是が完熟致します時は中央に膜をへだてて左右に果皮が破れ種子が飛散するのであります。それ故はも飛

ばないうちに黄褐色をおびて参りましたならば莖ごと刈りとり蔭干致します時は果皮は破れて種子のみ集める事が出来ます。

(四) 矢車草

全體としての開花期間は長い割合に一つ／＼の花は短命であります爲一見しました所蕾もあれば満開もあり又既に結實してゐるものさへもありませんためにあまり引立たない感じも致しますが注意して一つ／＼の花を見ます時は形といひ色といひ誠にやさしきのあるなかく／＼すてがたい花であります。色には紫、白、桃、藍など様々であります。切花などには結構であります。是も至極丈夫でありますから秋蒔に致しましたものでも別に霜除しないで越冬する事が出来ます。又一年下種致しますれば翌年からはあちこちに飛散した種子で翌春になりますれば思はぬ所に發芽して参りますから是をひろい集めまして苗を得る事が出来ます。

一、二回移植して心を止めないでそのまま放置しておきます時は四尺位の丈の高いものになり二、三回摘心致しますればあまり丈が伸びませんで大きな株立となります。この場合には數本の支柱を枝の所々に立ててやりませんとやゝもすれば根が數多い枝を支へかねて根こぎにされるやうな場合があります。

切花として觀賞致しますにはなるべく結實しないものを選びその中でも是の交じつた枝は切取るやうに致します。

種子の完熟したものは花軸の先端からかけて黄褐色になり一見枯れたやうになりますからこの時早く採種するのであります。是もその度をすぎしますとみんな種子はいづこへかぬけ出てゐるのであります。

(五) 千鳥草

飛燕草とも申しますが是も花形からつけた名稱

であります。

あまり横に擴がらないで丈高く成長するものであります。花色も前者にゆづらぬ程種類多く寒さにもかなり丈夫でありますが是も移植はきらふやうであります。用途としては花壇植の外に切花として多く用ひられて居ります。次に種子が熟しますと果皮の先端が小さくほころびてその穴から黒色の種子が出るのでありますがこの期を失しますれば是も果皮の全部がさけて種子は採り得ないのであります。

(六) 蟲取撫子

ぼたん色の小花が枝打のよい枝先に一面に咲き揃ひました眺めも亦すてがたい趣があります。粘着性の分泌物を出します所からこの名が與へられたのであります。是も一度下種致しますれば翌年からは特に下種する必要のない迄に丈夫な種類であります。そして一切り花が終りましたならば

是を根本から四、五節残して切り去ります時は又新しく脇芽を出して再び開花を見る事が出来ます。種子は筒状になつた果實中に極めて小さいのが無數に出来て居りまして是にも小さい穴を生じますから枝毎刈り取つて紙上に振りおとします時は容易に採種する事が出来ます。

(七)虞美人草

ひなげしともいひ白、紅、紫、しぼり、覆輪など種々の色があり又一重のも八重のもありましていづれも本月の花園を賑やはせます。

花瓣は極めてうすく一重のなどは蝶の如き蟲が中に入るにつけても破れさうな感じが致しますが性質は寒さに對して極めて抵抗力強く霜除を要しません。しかし移植に對しては又特別に弱く是は必ず直播にしなければなりません。而して小さい時から數回の間引を行ひまして最後には二尺位の間隔をおくやうに致します。密植にすぎますと返

つて美花を見る事が出来ません。その他の栽培法は他のものと異なりません。種子は完熟した頃になりますと果皮は一般のものと同様に黄褐色になります。がコップ状になつた果皮の上部に皿様の蓋があります。が是が少しもちり加減になりましてコップと皿との間に間隔が出来ましてこゝから種子が採收されるのであります。尙是を放置しておきます時は花軸の先端が下垂して種子は自然に落下するやうになります。

その他の栽培法は他のものと大差ありません。
(八)けし

前者に比して草丈高く花も大きく四枚の單瓣からなるのが普通であります。が八重咲のものもあります。色は前同様種々あります。又栽培方法も前者と少しも異なりません。

(九)花菱草

もえるばかりの橙黄色をして可愛らしい花であ

ります。中には淡黄色、白色などもあります。あまり格別なものではありません。

けしの花を小さくしたやうな四枚の單瓣である事、移植を忌む事などはよく似て居ります。

種子の出來方は前者と異なつて居りまして是はアラセイトウによく似て居りますが更に一層飛び易く完熟しましたものと一寸指先で觸れた丈でもすぐに果皮が裂開して中の種子がこぼれ落ちます。

用途としては開花期間が長い事、葉と花との釣合のよいことなどで花壇植としても鉢植としても亦切花としても美事であります。

(十) スキートビー

温室作りの冬咲種について今露地で満開であります。白、紫、赤、桃、しぼり等種々あります。長い花軸の先に蝶形花を三つ四つつけ一齊に咲き揃つた所を花園で眺めるのも結構ですが切花とし

て一輪挿とするも芳香をもつて居りますのや色彩が豊富でありますのでなか／＼趣のあるものであります。

さてこのスキートビーはどんなのがよい花とされて居りますかと申しますに

- 1 一花梗に四五個位の花のついでゐること
- 2 花梗の長いこと

右のやうであります。が我々素人作りと致しましては先づ三四個位の所が上出來の方であります。栽培法と致しましては寒地を除きましては秋播に致しました方が生育の状態がよいやうであります。

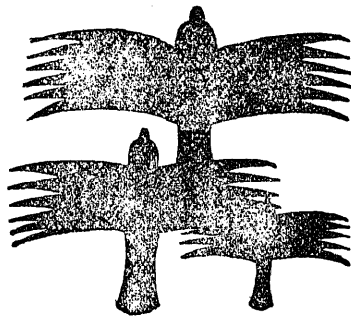
寒さに對する抵抗力はかなり強い方です。から東京地方でも霜除しないで越冬されます。しかし簡単な霜除をしたにこした事はありません。注意すべきは直播にする事及び輪作(年々植え場所をかへること)にする事です。基肥と致

しましては堆肥に過燐酸石灰を交ぜたもの又は鶏糞に油粕を交ぜたもの等を用ひればよいのであります。かくて莖の成長するにつれ支柱を立てゝ是に誘引させてゆくのであります。この支柱には枯枝を利用致しましても篠竹を用ひてもよろしいのであります。が花園に作つて觀賞致しますには二畦に播き付け兩方から篠竹を屋根狀に組合はせば兩面が綠葉と花とで覆はれ外觀がよいかと思ひます。

鉢の場合は行燈支立がよろしうございます。

又採種用には鉢作りの方が大粒のよいものがえられます。

尙歩を運んで参りますれば數多咲いて居ります。が今回はこれ丈にとどめておきます。



雜 錄

東京女子高等師範學校

保育實習科入學試驗問題

國語

一、解釋

次ノ文ヲ平易ナル口語ニテ解釋セヨ

一とせのほど、四つの時の移り行くまにまに、
ももよろづちよろづと花は咲けども、この花のあ
てなるにしく花なく、この句のなつかしさに比ふ
へき句なし。されば、春の花のうらゝなる日影に
しも咲きはえたるは、まことにたぐひなくめでた
く、なつかしき花になむありける。(櫻)

次ノ文ノ大意ヲ述ベヨ

社會が文藝的教養に於て低いといふことは、文藝それ自身に取つても、又は社會それ自身に取つても甚だ悲しむべきことである。美しい花や能々實つた果實が、瘦せた土地から産出されることの少いのと同じやうに、文藝的教養の程度の低い社會から優れた文藝の生れないのは、文藝史の多くが能く之を證明してゐる。

二、作文(文體隨意)

髮

理科

一、かきの果實とりんごの果實との異同を説明せよ。

二、次のものをよく觀察しその結果を説明せよ。

櫻の枝

圖畫

蜜柑二個の寫生(鉛筆畫)

堀教授著

「歐米の幼稚園及低
學年教育の實際」

倉橋惣三

堀教授さきに歐米に遊び、教育の全面に亘つて
 廣く各國の現況を視察し、歸來、其の豊富なるお
 土産の中から、特に幼兒教育に關する部分を細叙
 し、且つ幾多の挿繪を添へて新裝を整へられたの
 が本書である。歐米教育の視察者は必ずしも少な
 くない。しかも、幼兒教育に就て精しき視察を試
 みたものは多くない。更に、その視る處を詳細に
 記述し、丹念に報告せるものに至つては、恐らく
 皆無といふに庶い。此の新著は其の點に於て實に
 唯一のものといふも過言でない。蓋し海外の視察
 に於て、問題の概要を知ることが出來ても、一々

に就て綿密なる知識を得ることは困難なる業であ
 り、殊に、之れを詳細に記録することが如何に勞
 多き業であるかは、海外視察に經驗あるもの、皆
 知るところである。堀教授の視察記を本誌に於て
 讀んだ初めから、此點に就て君の勵精と精力とに
 驚いたのであるが、今此の新著を迎へて、一層の
 驚嘆を禁ずることが出來ない。尙一冊の書として
 緋讀する時、著者の視察の用意の存せるところを
 も察することが出來、格段の興味と敬意とを新た
 にするのである。加ふるに著者の巧妙なる筆致と
 趣味多き着眼とは一切の情景を浮き上がらせてゐ
 る。讀者は此の親切なる報告により、所謂居なが
 らにして歐米の幼兒教育界を視ることが出來、そ
 の間、得るところ學ぶところ、考へさせられると
 ころ、實に限りなきものがあらう。しかも、その
 語るところは、大體の趨勢とか傾向とかいふ大づ
 かみのものではなくして、或は設備の一々を實寫

夏季講習會豫告

し、或は保育案教育過程の實際を細録し教育實地の好參考たるを期してある點は、此の書の一大特色であつて、流石に此の著者の著書といふべく讀者諸君の得るところも亦、極めて直接的に、又極めて實質的の利益が多いことを信ずる。而して、

此好著が幼稚園教育者諸君に興味あることは勿論であるが、今や眞摯なる革新期にある低學年の教育の爲に、最も適切なる參考たるを疑はない。更に、今尙ほ充分には解決せられてゐないところの、

幼稚園低學年聯絡の問題に對して、一大暗示を與ふるものであり、著者の志の一つの主要點も亦、恐らく茲にあるのであらうと思ふ。いづれにせよ、

新著は早く讀むのが興味が多い。況んや此書の如き、すべてが今日の現状に就て書かれた、新を語れる新著に於ておやである。今や新緑、いそいで此の新著を讀者諸君の机上に送り度い。(東京市外高圓寺昭々閣書房發行、定價二圓八十錢)

日本幼稚園協會主催幼稚園遊戲講習會と東京女子高等師範學校講堂で開催いたします。

一、期 日

昭和五年七月二十三日より二十五日までの三日間毎日午後一時より同四時まで

二、講師及題目

幼稚園に於ける遊戲の實際

東京府立第六高等女學校教諭戸倉ハル

三、會 費

一人金貳圓但し日本幼稚園協會會員は一人金

壹圓五十錢

四、申込手續

講習會入會希望者は住所、職、氏名を詳記し來る七月十五日までに東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會事務所宛にて御

申込下さい。會費は日本幼稚園協會振替口座
東京一七二六六番に御拂込下さい。

五、注 意

1、七月二十二日より同二十七日まで毎日午前
八時より正午まで文部省主催の幼稚園に關す
る講習會が東京女子高等師範學校に於て開催
せられる筈であります。しかしそれと本會主
催の遊戯講習會とは全く關係がありません。
それで文部省主催の講習會に出席希望者はそ
の府縣に申込み許可を得ねばなりません。本
會の講習會に出席希望者は直接東京女子高等
師範學校附屬幼稚園内幼稚園協會に御申込下
さい。兩者を取違ひぬやうに御注意下さい。

昭和五年五月

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會



定 規 文 注 告 專

一、幼稚園及び小学校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。

一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。

一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に

本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日 本 幼 稚 園 協 會

一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵券代用の場合には總て一割増）

一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。

一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。

一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。

一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。

一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年分拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和五年五月十二日印刷納本
昭和五年五月十五日發行

幼兒の教育 第三十卷第五號

不 許 複 製
禁 轉 載

編輯兼發行者 堀 七 藏
東京府豐多摩郡戸塚町大字戸塚五七五

印刷者 須 藤 紋 一
東京市麴町區飯田町二丁目五十番地

印刷所 京華社印刷所

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日 本 幼 稚 園 協 會
振替口座東京一七二六六番

廣 告

特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓	一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田與松に御申込下さる。

女子學習院
教授

岡野

榮・丹羽禮介先生共著

家庭
學校

美有園長とその 描き方

菊彩作定送
刺色畫價料
洋畫二金
綴三千四
百五十八廿
頁葉餘錢七

寫生、略畫、
レヨン畫、水
彩畫、圖案等
學校美術教
育の大展覽

唯單に寫生のみを圖畫教育の目標とするのは大なる錯誤です。更に觀察力、考察力鑑賞力、着想の妙、色調の美、表現の技法、應用の力、之等を啓發培養してこそ其本來の目的を達すると共に他面又圖畫科が他學科とよく關聯して直觀教授や實物教授の能力を發揮し得る譯です。本畫集は教科書の綜的に於て小學校の各學年の各學科修身、國語、歴史、理科、地理等の國定教科書の綜的に於て小學校の各學年の各學科圖案畫、毛筆、ペン、の略畫の三種に依つて描く所無慮千數百、而して卷頭數十頁に亘りその描き方、一、二、三、の對する應用の方法を述べてあり、實物教材として其應用は實に自由自在です。ハ、勿論小學校各學年の全科に亘り實物教材として其應用は實に自由自在、教育者及び一般家庭の御心備御推薦を乞ふ。

帝國美術學院
東京美術學校
岡田三郎助
丹羽禮介
共著

新刊 三版 六版 五版

學校圖畫描き方
家庭應用略畫集
學校應用レヨン圖集
家庭應用圖案畫集

菊彩全一冊洋綴
定價三圓八十錢
送料十八錢

菊彩全一冊洋綴
定價三圓八十錢
送料十八錢

菊彩全一冊洋綴
定價三圓八十錢
送料十八錢

菊彩全一冊洋綴
定價三圓八十錢
送料十八錢

實物寫真と寫生圖と略畫の三様の比較を如實に示す等、用意周到、懇切丁寧を極めた教育略畫集の寶庫であり、指導書であります。

作畫の第一階梯として、一、圓型、二、三角型、三、四角型の之等の配置交錯に依り如何に簡單に描かるゝかを兒童に會得せしめるに如何に簡一本の線より順序を経て畫に實例に於て説明しと彩色の過程を懇切丁寧に實例に於て説明してあり、且つ學校教育家庭に於て如何に實例に於て説明し、且つ製作家たるを得、且つ製作家たるを得、且つ製作家たるを得、且つ製作家たるを得。

東京女子高等師範
學校教諭兼圖書
機井曹一著

學習中心
手工學習指導

菊彩全一冊洋綴
定價一圓八十錢
送料十八錢

菊彩全一冊洋綴
定價一圓八十錢
送料十八錢

菊彩全一冊洋綴
定價一圓八十錢
送料十八錢

菊彩全一冊洋綴
定價一圓八十錢
送料十八錢

實物寫真と寫生圖と略畫の三様の比較を如實に示す等、用意周到、懇切丁寧を極めた教育略畫集の寶庫であり、指導書であります。

作畫の第一階梯として、一、圓型、二、三角型、三、四角型の之等の配置交錯に依り如何に簡單に描かるゝかを兒童に會得せしめるに如何に簡一本の線より順序を経て畫に實例に於て説明しと彩色の過程を懇切丁寧に實例に於て説明してあり、且つ學校教育家庭に於て如何に實例に於て説明し、且つ製作家たるを得、且つ製作家たるを得、且つ製作家たるを得、且つ製作家たるを得。

發行所 東京市牛込區中野文庫書店 電話 三三三八番 電話 三三三八番 電話 三三三八番

廣島大學 文藝學科 教授 久保良英 著

現代心理學叢書

第一編

新刊

形態心理學

形態心理學の出現と共に心理學界は一大センセーションを捲き起して居る。彼等はヴントやゼームスの如き巨匠に依りて建設された心理學の大殿堂を根底から覆さんと試み、在來の心理學とは全く異つた見地から精神現象を見直さん企て、居る。然かも其學說は多く論文として雜誌に掲げらるゝも彼地に於て、一冊に纏めて其の大要を捕ふるものは極めて少なく、況んや邦に於て、此種の著書は一冊もなく、一日も早く其出版を期待され居る。今回この心理學の紹介に逸早く努力し、一日も早く久保博士に依りて居る。本書が公衆に知られ、實に我邦に於る最初の形態心理學の出版として苟も時代の尖端はなれど、知識人の必讀の要書である。

菊池洋一編 全一冊 定價三圓廿錢 送料十錢

第二編	精神分析學	近刊	第三編	人格心理學	近刊
第四編	行動心理學	近刊	第五編	精神派心理學	近刊
第六編	性格學と筆蹟學	近刊			

好評

實驗心理學精義

廣島文理科大學教授 文學博士 久保良英先生著

簡單行動篇

菊池洋一編 全一冊 定價三圓廿錢 送料十錢
 復雜行動篇
 菊池洋一編 全一冊 定價三圓廿錢 送料十錢

實驗心理學の檢討に愈々なき者は前篇簡單なる行動篇。後篇複雜なる行動篇を著し、その編纂方法は質的及量的の兩者交互に説叙し、終始一貫純正なる學者的の立場より世界の心理學者が開拓せし所、又はせんとする所を周到懇切に詳述せるものなるを以て書中最新學說の充滿せる事は昔を俟たず。

發行所 東京市牛込區 中野區 文館書店 電話 二五七番

堀 七 藏 著

歐米の幼稚園教育の實際

定價二圓八十錢
送料十四錢

本書は先生が大正十五年四月文部省在外研究員として歐米諸國に於ける幼稚園並に小學校を參觀せられた實際の記事でありまして「幼兒の教育」誌上に連載せられたものを増補訂正せられ更に多數の寫眞を加へられましたから居ながらにして歐米幼兒教育の實際を看取し其短を捨て長を採て以て我國幼兒教育を改善進歩せしむる最良書であります、幼稚園は素より保母諸姉も必ず座右に一本を供へられんことを切に希望致します。

東京神田教育會館内

特約販賣

株式會社フレベール館

振替東京一九六四〇

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回十五日發行)

昭和五年五月十二日印刷納本
昭和五年五月十五日發行

定價三十五錢